

2015 65th ANNIVERSARY

報恩謝徳

～65年の想いと情熱を胸に未来への挑戦～

JCI 65TH ANNIVERSARY Junior Chamber International Hakodate



一般社団法人 函館青年会議所

特別史跡 五稜郭公園



一般社団法人 函館青年会議所



一般社団法人 函館青年会議所



2015年度 LOMスローガン

地域に笑顔と感動を ～65年分の感謝を込めて～

創立65周年記念テーマ

報恩謝徳 ～65年の想いと情熱を胸に未来への挑戦～

青年会議所〔JC〕とは

青年会議所は、自由な社会と経済発展を実現し、新しい社会をリードするにふさわしい人材育成を目的として、1915年にアメリカ合衆国セントルイスに生まれた小さな青年活動グループから始まりました。その活動は次第に拡大していき、1944年にはアメリカ、コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、メキシコ、ニカラグア、パナマの8カ国によって国際青年会議所（JCI）が発足、日本も1951年にJCIに加盟しました。函館青年会議所は、日本で4番目に設立された青年会議所で、日本青年会議所の創立にも加わりました。「明るい豊かな社会」の実現を同じ理想とし、次代の担い手たる責任感を持った指導者たらんとする青年の団体です。

現在、青年会議所は『修練』・『奉仕』・『友情』を信条として、それぞれの地域で活動しています。青年会議所の事業目標は“社会と人間の開発”であり、その具体的事業として、我々は市民社会の一員として市民との共感を求め、社会開発計画による日常活動を展開し、「自由」を基盤とした民主的集団指導能力の開発を押し進めています。さらに日本の独立と民主主義を守り、自由経済体制の確立による豊かな社会を創り出すため、市民と共に進む団体、それが青年会議所です。

2015
Junior Chamber International HAKODATE



The Creed of Junior Chamber International
[JCI クリッド]

We believe:
我々はかく信じる:
That faith in God gives meaning and purpose to human life;
信仰は人生に意義と目的を与え
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
人類の同胞愛は国家の主権を超越し
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
正しい経済の発展は自由経済社会を通じて最もよく達成され
That government should be of laws rather than of men;
政治は人によって左右されず法によって運営されるべきであり
That earth's great treasure lies in human personality;and
人間の個性はこの世の至宝であり
That service to humanity is the best work of life
人類への奉仕が人生最善の仕事である

JCI ミッション

To provide development opportunities that empower
青年が積極的な変革を創造し開拓するために、
young people to create positive change.
能動的に活動できる機会を提供する。

JCI ビジョン

To be the leading global network of
青年の行動的市民活動を支援する
young active citizens.
国際的なネットワークをもつ先導的機関となる。

J C 宣言

日本の青年会議所は混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が生き生きと協和する
確かな時代を築くために率先して行動することを宣言する

綱 領

われわれJAYCEEは社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者 相集い 力を合わせ青年としての英知と
勇気と情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げよう

【目次】

◆挨拶	4	◆創立65周年記念式典・記念祝賀会 記念事業紹介	15
一般社団法人函館青年会議所 第65代理事長 横田 貴之 函館青年会議所同友会会長 小林 久周		◆65年のあゆみ	20
◆祝辞	6	◆5年間の軌跡 第61代～64代理事長メッセージ 年代別紹介(2011年～2015年)	24
北海道知事 高橋 はるみ様 北海道渡島総合振興局長 三戸部 正行様 函館市長 工藤 壽樹様 北斗市長 高谷 寿峰様 七飯町長 中宮 安一様 函館商工会議所会頭 松本 榮一様 公益社団法人日本青年会議所会頭 柴田 剛介君 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会会長 植村 真美君 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区北海道ブロック協議会会長 森 禎樹君 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会道南エリア担当副会長 菊谷 義統君 大韓民国月溪(ウォルゲ)青年会議所 会長 キム ソンジュン君 公益社団法人 会津青年会議所 理事長 薄 敬治君 一般社団法人 西宮青年会議所 理事長 松本 陽介君		◆歴代理事長並びに 年代別紹介(1950年～2010年)	38
◆実行委員長挨拶	14	◆会員褒賞 2013年～2015年 11月例会会員大会受賞者	50
一般社団法人函館青年会議所 65周年実行委員長 後藤 広貴		◆物故会員	51
		◆会員一覧	52
		◆編集後記	54



挨拶



一般社団法人 函館青年会議所
第65代理事長
横田 貴之

戦後まもない、1950年5月5日「新日本の再建は、我々青年の仕事である」という趣意に賛同のもと、日本で4番目の青年会議所として函館青年会議所が設立をされました。

日本青年会議所のチャーターLOMとして、「明るい豊かな社会」の実現を目指し、運動を続けてこられたのも先輩諸兄の皆様の高い志と地域の皆様に支えて頂いたからこそ、創立65周年という節目の年を迎えることができました。

本年は、これまで支えて下さったすべての皆さまへ「感謝」を伝える節目の年であり、私たちは、創始の精神を忘れずに過去から学ぶべき事を学び、メンバー一人ひとりが「感謝」の気持ちを持ち続け、未来のまちの為、次代を担う子ども達の為に今後も行動し続ける事で、常に社会の負託に応えられる組織を目指していきます。

いよいよ、来年3月26日に、北海道の長年の夢でありました北海道新幹線が開通致します。この北海道新幹線開通に伴う地域の運動として、函館青年会議所は早い段階から携わらせていただきました。この北海道新幹線開通を契機に、多くの交流人口を呼び込み、さらに活気に満ち溢れる道南圏を創造していくために、青年らしい観点からの地域と一体となった運動を展開して参ります。

また、2016年は公益社団法人 日本青年会議所 北海道地区協議会 第65回北海道地区大会 函館大会を主管させて頂きます。その函館から、地域のたからを結集し、さらなるたから島北海道の創造に向けて「函館にしかできない、函館だからできる大会」にすべく、万全な準備で皆様をお待ち申し上げております。

その時々において、取り組む内容は違えども、変わらないのは常に地域のため、そしてそこに住み暮らす人々のために運動を展開してまいりました。今日の自己犠牲をいとわず、真剣に未来への思いを馳せ、理想を掲げ、65年の歴史への感謝の気持ちを行動に移し、すべての「感謝」を原動力に70周年に向けて運動していくことを御約束申し上げます。

結びとなりますが、今後も函館青年会議所は地域のため、そこに住む人々のために運動を邁進してまいります。これまで同様に皆様のご支援をお願い申し上げ、創立65周年記念誌発刊の御礼の挨拶とさせていただきます。



挨拶



函館青年会議所同友会 会長
小林 久周

一般社団法人函館青年会議所が創立65周年を迎えましたことを心よりお慶び申し上げますとともに同友会（シニアクラブ）を代表してひと言お祝いを申し上げます。

青年会議所運動は、戦後の荒廃した日本を再建すべく、志を同じくする若者が集まり東京にて始まりました。そしてその運動が当青年会議所初代理事長三本木博先輩をはじめ数名の同志によって函館の地に受け継がれ、東京、大阪、前橋に次いで4番目の青年会議所として郷土に産声を上げたことは私たちの誇りとするところであります。

以来、この運動の灯りは脈々と歴史を刻み65年の歳月を重ねてまいりました。

或る企業の社員は得意先から「他社の人間と違うね、よくできているので安心してつきあえる」と高い評価を得ている。この或る企業にその理由を尋ねた。「特別なことはしていませんよ。ただ技術面だけでなく精神面の勉強にも力をいれてバランスのとれた人づくりに努めているだけです。」と言う。人間は心の修行と仕事の技術の両面が備わってこそ、初めてバランスのとれた立派なビジネスマンになるのである。青年会議所運動の基礎が「個人の修練」「社会への奉仕」「世界の友情」の三信条であること。もう一つは「40歳定年制」という、若さの保持、継続が守られる組織だということだと思います。我が郷土は来年3月26日開業の北海道新幹線により新時代を迎えます。現役の会員の皆様には創始の精神に思いを馳せ、新時代に先駆者として様々な課題に積極的に取り組んでほしいと願っております。

結びに、これまで長きに亘り青年会議所の活動にご理解をいただき物心両面からサポートして下さいました関係各位、行政および各界、各層の皆様には心より深く感謝申し上げます。また、今後につきましても、青年会議所の活動を暖かく見守っていただき、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人函館青年会議所が今後ますます地域から求められ、信頼される存在になりますよう、会員の皆様の更なるご活躍に大いなる期待を寄せてお祝いの言葉といたします。



祝 辞



北海道知事
高橋 はるみ 様

一般社団法人函館青年会議所が、創立65周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴青年会議所は、昭和25年の設立以来、明るい豊かな社会づくりを目指し、「はこだてクリスマスファンタジー」などの観光イベントの開催や、子どもの人材育成に向けた取組など、地域に根ざした多彩な活動に熱心に取り組まれ、地域の発展に大きく貢献してこられました。

皆様のまちづくりやひとづくりに対する情熱と行動力は、ふるさと函館の発展を大きく後押しされてきたところであり、横田理事長をはじめ、歴代の役員、会員の皆様のご尽力に深く敬意を表します。

さて、本道は全国を上回るスピードで人口減少が進む一方で、道産食品の輸出や外国人観光客の増加、さらには来年3月の北海道新幹線の開業など、食や観光の分野で明るい動きが見られます。

これからの動きをさらに発展させ、夢と希望に満ちた北海道づくりにつなげていくためには、ふるさとの将来を思う青年会議所の皆様の活動が今後ますます重要になるものと考えています。

函館青年会議所の皆様におかれましては、創立65周年を契機として、ふるさとの輝かしい明日に向けて、青年らしい柔軟で斬新な発想で、創意あふれる取組を果敢に進められていくことを期待しています。

結びに、一般社団法人函館青年会議所のますますのご発展と皆様のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



祝 辞



北海道渡島総合振興局長
三戸部 正行 様

函館青年会議所が記念すべき創立65周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴青年会議所におかれましては、設立以来、産業振興はもとより、地域づくりの優れたリーダーとして青少年の健全育成など多彩な活動に取り組まれてこられました。

これもひとえに、地域の発展に限りない情熱を注いでこられた横田理事長をはじめ、歴代役員並びに会員の皆様の熱意とたゆまぬご尽力の賜であり、深く敬意を表します。

今、北海道は人口減少社会を迎え、かつて経験したことがない厳しい状況に直面していますが、この課題を乗り越え、未来への確かな道筋を切り拓くためには、地域の特性や資源、強みを生かした取組を進めていくことが重要です。

この道南は、優れた食や観光資源に恵まれており、来年3月に予定されている北海道新幹線の開業を起爆剤として、人、モノの交流を一層促進し、地域の活性化に結びつけていくことが期待されています。

こうした大きな飛躍のチャンスを迎えた今こそ、地域のリーダーたる貴青年会議所の皆様の若者らしい発想と行動力が必要になります。

皆様におかれましては、創立65周年を契機として、引き続き地域に根ざした活動を展開され、輝かしい未来に向けて一層のご尽力をいただきますようお願い申し上げます。

終わりに、函館青年会議所の今後のご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



祝 辞



函館市長
工藤 壽樹 様

一般社団法人函館青年会議所の創立65周年を心からお喜び申し上げます。

函館青年会議所におかれましては、北海道初の青年会議所として誕生以来、情熱と創造性に富んだ若い力と強いリーダーシップを存分に発揮し、地域経済の活性化や文化の振興等に積極的に取り組まれ、「道南フェスティバル」や「宝さがし」などのイベント開催、さらには「はこだてクリスマスファンタジー」など本市の基幹産業である「観光」をはじめ、地域活性化に多大な貢献をいただいておりますことに深く感謝申し上げますとともに、会員やOBの皆様の結束力と並々ならぬご努力に心から敬意を表します。

さて、来年3月には北海道新幹線が開業し、新たな人の流れが期待されますことから、若者をはじめとする雇用の拡大・創出のため、首都圏でシティセールス活動を推進するほか、北関東・東北地域で重点的に観光プロモーションを行い、新幹線開業による経済効果を最大限享受できるよう取り組んでまいりたいと考えております。

今後も皆様と連携しながら、市民が誇れるまちづくりの推進に邁進していく所存でございますので、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、一般社団法人 函館青年会議所の今後ますますのご発展と会員・OBの皆様方のご健勝とご活躍を祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



祝 辞



北斗市長
高谷 寿峰 様

一般社団法人函館青年会議所が創立65周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

全国でも4番目の歴史を誇り、伝統ある貴会議所は、明るい豊かな社会の実現を理想とし、地域の魅力を発信する道南フェスティバルをはじめ、各種地域おこし活動やボランティア活動、青少年の育成事業などを通じて、道南地域の振興発展に大きな役割を果たしてこられました。

貴会議所の今日までの充実発展は、歴代理事長をはじめ、会員皆様方のご尽力の賜と心から敬意を表するものでございます。

全国的な人口減少時代を迎え、各地域が多様な課題を抱える中、これまで皆様方は、地域と一体となり、地域課題の解決に向けたさまざまな活動を展開されてきた実績があり、そしてまた、皆様方の持つ高い理想と情熱、次代を担うという責任を自覚した活動は、各界各層から大きな期待が寄せられております。

来年3月26日の北海道新幹線開業を控えたこの道南地域は、大きな可能性を秘め、さらなる飛躍が期待される地域であり、この千載一遇のチャンスを最大限に活かし、しっかりと地域の活性化に結び付けていくため、皆様方には、何事にもチャレンジする精神と創造性豊かな発想をもって、失敗を恐れず積極果敢に行動していただきたいと存じます。

最後に、一般社団法人函館青年会議所が創立65周年を契機として、一層のご発展を遂げられますとともに、会員の皆様方のご健勝を心からお祈りいたしまして、お祝いのごあいさつといたします。



祝 辞



七飯町長
中宮 安一様

一般社団法人函館青年会議所が創立65周年という節目を迎えられ、これまでの歩みを記した記念誌の発刊に当たり、心からお祝いを申し上げます。

一言で「65年」と言葉にすると簡単なことではございますが、この65年間の社会は、正に激動の時代を迎えております。その激動の荒波の中におかれまして、様々な活動に努めながら交流を深め、地域社会の発展に貢献されてこられました多くの皆様方の功績に対しまして、敬意を表するものであります。

さて、昨今の情勢に目を向けますと、来年3月には、いよいよこの北の大地に新幹線が開業します。北海道新幹線の開業により、東北圏、関東圏等からの交流人口が増加されることが予想され、道南地域の発展にとってはまたとない好機と捉えております。

七飯町におきましても、北海道新幹線の開業効果を十分に享受できる取組を進めておりますが、皆様におかれましても、この道南圏域の魅力や価値を発信していただき、道南圏域の活性化にご協力いただきますようお願い申し上げます。行政と皆様とともに手を取り合い、この圏域に埋もれている多くの資源を発信し、道南圏域を活性化させていくことが、昨今叫ばれている地方創生に繋がるものと考えているところであります。

結びに当たり、一般社団法人函館青年会議所のますますのご発展をお祈り申し上げるとともに、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、お祝いの言葉に代えさせていただきます。



祝 辞



函館商工会議所 会頭
松本 榮一様

函館青年会議所様が創立65周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴所は、敗戦の影響がまだまだ国民生活に重くのしかかっていた昭和25年、日本の再建とともに、郷土「函館」を復興させるため、若い力を結集させる必要があるとの判断から、当時の函館商工会議所若手議員が中心となり、全国で4番目に設立されたと認識いたしております。

それから65年、我が国は飛躍的に発展を遂げて今日に至っておりますが、この間、歴代理事長のもと、青年の英知と勇気と情熱をもって、地域社会の発展に大きく貢献され、また創立65周年を迎えた本年、「地域に笑顔と感動を～65年分の感謝を込めて」をスローガンに、新たな決意と結束のもと、事業を進められているとお聞きしております。

発足当時から係りの深い私どもにとりましても、誠に感無量の思いを強くすると共に、改めまして心からの敬意を表するものです。

ご承知のとおり、来年3月には、いよいよ北海道新幹線の開業が迫っており、地域として開業効果を最大限かつ継続的に活かすための環境整備や諸事業の展開が求められております。

どうか函館青年会議所の皆様におかれましても、高速交通時代の到来を目前に、JCパワーを結束され、誰もが夢や希望を持てる地域社会実現にむけて、一層邁進されますことを、心からご期待申し上げます、お祝いの言葉といたします。



祝 辞



公益社団法人日本青年会議所
2015年度 会頭
柴田 剛介君

平素より、公益社団法人日本青年会議所に多大なるご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。また、一般社団法人函館青年会議所が創立65周年を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年はアベノミクス効果の影響を受け、日本経済が再び力を取り戻す年となりました。また集团的自衛権の行使容認の閣議決定など、歴史的に大きな節目を迎えた年でもあります。本年4月の統一地方選挙でも与党の圧勝で終わり、これまでの経済戦略や地方創生などの国家方針が再び強く支持されました。このように国家が示す方向により期待が膨らむ本年だからこそ、我々青年は地域の課題に向き合い、先駆者としてその課題を乗り越えて地域の再興を遂げるのか、それとも慢性的な不況のままの地域へと成り下がるかは、我々青年の肩にかかっています。

本年、日本青年会議所では『文化と文明が生み出す「底知れぬ力」による日本再興』を基本理念として活動を進めております。日本は高度文明社会の中で、古来の文化を守り、時には独創的な文化を創り出す、そんな「底知れぬ力」を持った万世一系世界最古の自然国家であります。そこに我々青年の斬新な発想力が加われば必ずや日本は地域から再興できると信じてやみません。

結びとなりますが、函館青年会議所の更なるご発展と横田理事長をはじめとするメンバーの皆様の多幸とご健勝を心よりご祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞



公益社団法人日本青年会議所
北海道地区協議会 会長
植村 真美君

一般社団法人函館青年会議所が創立65周年を迎えられたこと、公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会を代表いたしまして心よりお祝い申し上げます。誠にありがとうございます。

本年度の北海道地区協議会では、「溢れるほどの夢を描け!から島北海道の創造」とスローガンを掲げ、一人ひとりの夢の実現こそが、活力ある北海道につながるということを発信し活動を展開して参りました。また、これまで先人たちが築いてこられた各地域の資源力を見直し、地域の垣根を越えた青年会議所会員同士の熱き友情で、これからの地域づくりの可能性を示し、人と人のつながりから見える新しい世界を道民のみならずと共有していくことで、北海道の原動力につなげていきたいと思っております。

貴会議所におかれましては、この度、横田貴之理事長のもと「報恩謝徳～65年の想いと情熱を胸に未来への挑戦～」と周年テーマを掲げられ、65年という長き歴史を振り返り、地域に対する熱き想いをもち行動を起こした創始の精神を忘れずに、組織をさらに盤石なものにされますことを確信しております。今後とも会員のみならずが丸となり、函館市から北海道、日本をリードする存在として、力強い歩みを続けられ飛躍されますことを心よりご期待申し上げます。結びに、貴会議所がこの記念すべき年を大きな輝かしい一歩として、さらに地域のみならずとともに心を通わせ、今後ますますご発展されますことを心よりご祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞



公益社団法人日本青年会議所
北海道地区
北海道ブロック協議会会長
森 禎樹君

この度は、一般社団法人函館青年会議所 創立65周年を迎えられましたこと北海道ブロック1500名を代表し、心よりお慶び申し上げます。

1950年に日本で4番目の青年会議所を函館の地に興されて以来、地域発展に寄与する運動を展開され、また日本青年会議所のチャーターロムとして設立にご尽力された諸先輩方の並々な情熱と功績に心から敬意を表するとともに、諸先輩方より熱き想い、志を受け継いだ現役メンバーの皆様へ心よりお祝いと感謝を申し上げます。

本年は、横田貴之理事長が掲げる「地域に笑顔と感動を～65年分の感謝を込めて～」のスローガンのもと、メンバー一人ひとりが愛する地域を想い、地域から必要とされる運動を着実に展開されていることと確信いたしております。

日本青年会議所といたしましても、柴田剛介会頭を筆頭に「文化と文明が生み出す「底知れぬ力」による日本再興」を基本理念とし、全国697会員会議所の皆様と共に地域再興から日本再興へつながる運動展開のサポートをさせて頂いておりますが、一般社団法人函館青年会議所の皆様におかれましても創立65周年を契機として、より一層のご活躍をされますことをお祈り致します。

結びに、人と地域がつながり、地域に活力を漲らせ発展を促し、魅力溢れる美しい函館の創造が出来ることをご期待致しますと共に、貴青年会議所の益々のご繁栄とご活躍を心よりご祈念申し上げ、お祝いの挨拶とさせていただきます。



祝 辞



公益社団法人日本青年会議所
北海道地区協議会
道南エリア担当副会長
菊谷 義統君

一般社団法人函館青年会議所が創立65周年の節目を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。日頃より道南エリアの運動に対しまして多大なるご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

貴青年会議所は1950年の創立以来、日本青年会議所のチャーターLOMとして歴史を紡ぎ、「明るい豊かな社会の実現」を目指し、地域の発展に大きく貢献されてこられました。これもひとえに、地域への限りない愛情を注がれてこられました歴代の理事長をはじめ、会員の皆様の熱意と弛まぬ努力の賜物であり、長年にわたるご尽力に、心から敬意を表します。

来年3月26日に北海道新幹線開業が決定し、函館地域をはじめ道南エリアは新たな発展の可能性を秘めています。その効果を最大限に享受し北海道各地へと波及させるべく、我々は受け継がれてきた開拓者の気概と覚悟をもって地域を牽引し、北海道の再興へと導いていかなければなりません。皆様におかれましては、この度の創立65周年を大きな節目として、さらにその活動を充実され、地域活性化の力強い牽引役として「地域の力」を結集し、未来に誇れる希望に満ち溢れた地域を築かれますよう、より一層のご活躍をご期待申し上げます。

終わりに、一般社団法人函館青年会議所の今後の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を心からご祈念申し上げます、お祝いの言葉と致します。



姉妹JCからの祝辞

大韓民国 月溪(ウォルゲ)青年会議所



第22代会長
キム ソンジュン君

この度は一般社団法人函館青年会議所が、創立65周年をお迎えしたことを心からお祝い申し上げます。

2015年、函館青年会議所を立派に導いていらっしゃる第65代理事長横田貴之君をはじめとする役員の方々と会員の皆さんにお祝いの拍手をお送りいたします。

今日の函館青年会議所に至るまでの長い間、惜しみない献身を注いで邁進してきた歴代の理事長及び会員お一人お一人にも感謝の意を申し上げます。函館青年会議所と月溪青年会議所は19年間、国と言語は違いますがJCの信条を基に、JC人として誇りと遣り甲斐を抱いて来たように、これからも永遠に共にすることが出来たらと願う次第です。

最後に創立65周年を迎えた函館青年会議所と月溪青年会議所が永遠の友情と一つになること願い、皆さんのご家庭の幸せを祈願いたします。



하꼬다데 청년회의소에 창립 65주년을 맞이하게 된 것을 진심으로 축하드립니다.

2015년 하꼬다데 청년회의소를 훌륭하게 이끌고 있는 65대 요코타 다카유키 이사장 및 임원여러분과 회원모두에게 축하의 박수를 보냅니다.

오늘의 하꼬다데 청년회의소가 있기까지 헌신을 아끼지 않으신 역대 회장님 및 회원 한분 한분께도 감사하다는 말을 전합니다.

하꼬다데 청년회의소와 월계청년회의소는 19년 동안 나라와 언어도 다르지만 JC 신조를 신앙삼아 JC 인으로서 긍지와 보람을 함께 영원히 느꼈으면 하는 바람입니다.

마지막으로 창립 65주년을 맞이한 하꼬다데 청년회의소와 월계청년회의소가 영원한 우정과 하나가 되길 바라면서 모든 분들의 가정과 행복이 충만 하시길 기원합니다.



公益社団法人 会津青年会議所



第59代理事長
薄 敬治 君

この度は一般社団法人函館青年会議所が、創立65周年の記念すべき年を迎えられました事に心よりお慶び申し上げます。重ねてこれまでの輝かしい歴史と伝統を築いてこられました諸先輩の皆様へ心より敬意を表しますと共に誇り高き志を受け継いで活動しておられる現役メンバーの皆様へ心よりお祝い申し上げます。

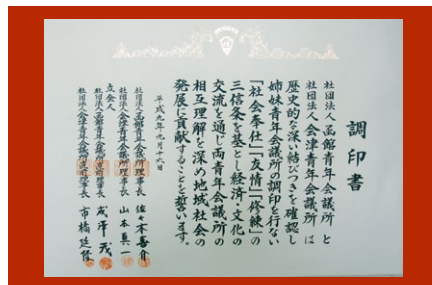
昭和25年(1950年)戦後の混沌とした時代の中、全国で4番目の青年会議所として誕生した函館青年会議所は創立以来、時代の移り変わりの中で地域が抱える様々な課題に果敢に挑戦し、地域発展のために多くの功績を挙げられ、また、日本青年会議所のチャーターLOMとして日本青年会議所の運動にもご尽力され、その歴史を紡いでこられた事と存じます。創立65周年の節目の年である本年は横田理事長が掲げるスローガン「地域に笑顔と感動を～65年分の感謝を込めて～」を胸に一丸となって未来の地域のため、次代を担う子どもたちのために運動を展開されている事と確信しております。

貴青年会議所とは1991年の友好JC締結を経て1997年の姉妹JC締結以来18年に亘り交流を続けてまいりました。幕末・維新期の歴史的な背景を共有する地域同士で結ばれた絆は締結当時の世代を超え、現在を担う現役メンバーの間にも確実に受け継がれております。

2011年に発災した東日本大震災の際には多くのご支援を賜り、風評被害で喘ぐ会津地域を盛り上げるために現役メンバーの皆様だけでなく諸先輩の皆様も含め多くの方々に会津にお越しくださった事もありました。また本年、当青年会議所では全国城下町シンポジウム会津大会を主管いたしました。これは2012年の全国城下町シンポジウム函館大会がきっかけであり、大会開催に際して貴青年会議所には副主管として多大なるご協力を賜りました。これまで紡がれてきたこの絆を誇りに思うと共に諸先輩方や現役メンバーの皆様のご厚意に改めて感謝申し上げます。

これからは志を同じうする同士として、楽しさを分かち合えるよき仲間として時には良い刺激を受け、支えあえる関係として互いに切磋琢磨しながら交流を続けて参りましょう。

結びとなりますが65周年を契機とし、貴青年会議所のますますのご隆盛を心よりご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



一般社団法人 西宮青年会議所



第65代理事長
松本 陽介 君

一般社団法人函館青年会議所 横田貴之理事長をはじめとするメンバーの皆様、OB諸兄の皆様、創立65周年誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

さて、貴青年会議所と私たち一般社団法人西宮青年会議所とは、同じチャーターLOMとして4番、5番というご縁もあり5年前の2009年に姉妹締結を結ばせて頂きました。今年は当LOMも65周年目を迎えるに当たり、多くのメンバーに遠く西宮の地にお越し頂きました。例年になく交流を深める機会が多い今年は、非常に親密さが増したように感じ嬉しく思います。

戦後復興間もない頃、民間青年経済人として率先して日本の復興の為に立ち上がろうと気概と情熱を持って奮起されたのが私たちの創始者であります。認証番号4番と5番というチャーターLOMとしての誇り、同規模都市であり同規模メンバー数という境遇下のLOMであるという共通点がある私たちは生涯に渡り良きパートナーとして、時に良きライバルとして切磋琢磨しながらJC運動を展開するという意志を受け継ぎ今に至ります。これからも貴LOMのパワーに刺激を頂戴しながら、力強く共に「明るい豊かな社会」の実現に貢献して参りたいと思います。

むすびになりますが、一般社団法人函館青年会議所様が今後益々ご発展されますことをご祈念申し上げますと共に、姉妹JCとして当青年会議所との更なる友情を深められることを心より祈念致しております。



実行委員長挨拶



一般社団法人 函館青年会議所
65周年実行委員長
後藤 広貴

戦後の混乱期、精神的にそして物質的にも荒廃された時代。

多くの市民が先の見えない不安を持ちながら生活していたさなか、この地域の復興を目指し、当青年会議所初代理事長 三本木 博先輩をはじめといたします英知あふれる青年同志によって、日本で4番目のチャーターLOMとして設立されてから65年。

「明るい豊かな社会」の実現に向け、この地域のため、市民のために何が必要なのか、そして何ができるのかを真剣に考え創始の精神を忘れずに今日に至るまで我々メンバーが青年会議所運動を続けてこれたことに對しまして、地域の皆様をはじめ行政各所、各諸団体、各地青年会議所の皆様、そして当青年会議所の礎を築いてこられました先輩諸氏の皆様の多大なるご支援ご協力に心より厚く感謝申し上げます。

本年、当青年会議所が創立65周年を迎えるにあたり、これまでの青年会議所運動を支えてくださいましたすべての皆様に「感謝」を伝えるとともに、今後も先輩諸氏から脈々と受け継いできたこの街に対する熱き想いと情熱をもって、地域のため、未来を担う子どもたちのためにメンバー一同更なる一層の努力を持って活動するべく、「報恩謝徳～65年の想いと情熱を胸に未来への挑戦～」という周年テーマのもとこの1年間活動してまいりました。

主な活動といたしまして、「創立65周年記念式典・記念祝賀会」の開催、未来を担う子どもたちの健全な育成を目的とした「創立65周年記念事業 稲葉篤紀氏が語る～夢に向かって全力疾走～」の開催、また本年度開設いたしました函館市の新しい顔である函館アリーナに、1970年創立20周年時に函館市民会館開設記念として寄贈した花時計が移設されたことに伴い新たな記念碑の寄贈、そして創立から現在に至るまでの歴史やあゆみを綴り、今後の活動の資産として発刊いたしました「創立65周年記念誌」など様々な記念事業を展開してまいりました。

この節目の年にこれまでの64年の歴史やあゆみを振り返ることで、時代背景や情勢は違えど地域のために自己犠牲を惜みず活動されてきた先輩諸氏へ改めて敬意を表するとともに、メンバー一人ひとりが常に「感謝」の気持ちを胸に原点に立ち返り、今後もこの地域の発展に向け函館青年会議所としての役割・責任をしっかりと認識し、若者らしく失敗を恐れず様々な事に果敢に挑み続け、次の70年、そして100年に向け邁進してまいります。

結びとなりますが、皆様方のご多幸とご健勝をご祈念申し上げますとともに、今後とも一般社団法人函館青年会議所に対してこれまで同様のご支援ご協力を賜りますことを心よりお願い申し上げます。創立65周年の御礼並びに記念誌発刊の御挨拶とさせていただきます。



創立65周年

記念式典
記念祝賀会
記念事業



創立65周年記念式典

日 時 2015年5月30日 土曜日
 場 所 花びしホテル(あかしの間)
 時 間 10:30~12:00
 担当部会 65周年実行委員会 式典部会 部会長 竹田 賢司

《開催趣旨》

青年会議所の運動はその時々時代の背景や地域の求めるものを真剣に考え様々な功績を残してきました。創始の精神を忘れずに新たな事に挑戦し続けて節目の年を迎えるにあたり、これまでの活動に対してご理解とご協力を頂いた多くの方々への感謝を表し、今後も地域のために青年会議所運動の歴史を紡いでいく必要があります。

1. 開会宣言
65周年実行委員会 副実行委員長 中山 治
2. 国歌斉唱並びにJ C ソング斉唱
3. J C I クリード唱和
65周年実行委員会 副実行委員長 澁田 孝
4. J C I ミッション並びにJ C I ビジョン唱和
65周年実行委員会 副実行委員長 福西 秀幸
5. J C 宣言文朗読並びに綱領唱和
65周年実行委員会 副実行委員長 柳 順也
6. 物故会員追悼
7. 来賓・OB・姉妹・来訪J C 紹介
8. 函館青年会議所65年の歩み
9. 理事長挨拶
第65代理事長 横田 貴之
10. 祝辞
北海道知事 高橋 はるみ様
函館市長 工藤 壽樹様
衆議院議員 前田 一男様
11. 祝電披露
12. 歴代理事長紹介
13. 歴代理事長代表挨拶
第16代理事長 池見 厚一様
14. 姉妹J C への記念品贈呈
大韓民国月溪(ウォルゲ)青年会議所
公益社団法人会津青年会議所
一般社団法人西宮青年会議所
15. 創立65周年記念事業紹介
65周年実行委員会 実行委員長 後藤 広貴
16. 閉会宣言
65周年実行委員会 副実行委員長 中山 治



《式典を終えて》 部会長 竹田 賢司

65年の歴史を持つ函館青年会議所と云ってしまえば一言ですが、創立への苦勞に始まり現在に至るまでには数えきれない人々の尽力と様々な想いがあります。本式典はこれまで我々の活動を支えて頂いた多くの皆様へ感謝をお伝えすべく執り行わせて頂きました。また、我々現役メンバーにとっても改めて函館青年会議所の歴史と伝統を知ることができ、紡いでいくことの大切さを学びました。ご参集頂いた皆様を始め、開催にあたりご協力頂いた皆様へ心より感謝申し上げます。

創立65周年記念祝賀会

日 時 2015年5月30日 土曜日
 場 所 花びしホテル(芙蓉の間)
 時 間 12:30~14:00
 担当部会 65周年実行委員会 懇親部会 部会長 五十嵐 慎悟

《開催趣旨》

地域を思い熱き情熱をもって函館の発展に向けて活動してきた函館青年会議所は65周年を迎えます。この周年を機に今後の歩みに向けて我々が更なる成長をしていく為にも、今まで支えてくださった諸先輩方が紡いできた65年の歴史を振り返り、その活動理念を改めて確認すると共に、ご協力をいただいたすべての皆様に向けてメンバー一丸となって感謝を伝える場が必要です。

1. オープニングアトラクション
巴太鼓×マグロ解体ショー
2. 実行委員長挨拶並びに開会宣言
65周年実行委員会 実行委員長 後藤 広貴
3. 祝辞・鏡開き・祝杯
函館商工会議所 会頭 松本 榮一様
公益社団法人 日本青年会議所 北海道地区 北海道ブロック協議会 会長 森 禎樹君
4. 来訪J C P R
5. 第65回北海道地区大会函館大会 P R
地区大会準備委員会 委員長 澁田 孝
6. 乾杯
函館青年会議所 同友会会長 小林 久周様
7. 若い我等
8. 一発締め
65周年実行委員会 特別顧問 國本 直弘
9. 閉会宣言
65周年実行委員会 実行委員長 後藤 広貴

《祝賀会を終えて》 部会長 五十嵐 慎悟

65年を迎えるにあたり、今まで支えてくださった皆様へ「感謝」の気持ちを伝えるべく記念祝賀会を開催させていただきました。ご参集いただきました皆様に対してメンバー一丸となっておもてなしを御提供することができたと感じております。改めまして、我々の活動に対して御協力いただいております皆様に感謝の意を表しまして記念祝賀会開催のお礼に代えさせていただきます。



稲葉篤紀氏が語る～夢に向かって全力疾走～

1. 野球教室

日 時 2015年9月20日 日曜日
場 所 学校法人野又学園 函館大学附属有斗高校グラウンド
時 間 13:30～15:30

担当部会 65周年実行委員会 事業部会 部会長 時田 真一

《事業趣旨》

我々は地域活性化や青少年育成などの様々な事業に熱き情熱を持って長きに渡り取り組んできましたが、地域の方々の理解と支えがあったから活動してこれました。65周年という節目を迎える今こそ、地域住民に感謝を伝えると共に、これからも地域住民と一体となって、地域の未来を見据えた活動をしていく必要があります。これまで以上の理解と協力を得るには、未来を担っていくであろう子供たちの健全な育成を住民と共に考える場が必要です。



2. 特別講演会

日 時 2015年9月20日 日曜日
場 所 函館アリーナ メインアリーナ
時 間 17:00～19:00

《事業を終えて》 部会長 時田 真一

2015年8月にオープンしたばかりの函館アリーナにて、約1,700名の来場者を迎え入れた講演会を開催することができました。幅広い年齢層の市民の皆様が夢を持つ事の大切さ、そしてその為に目標を達成していく事の重要性を理解して頂くことができました。



函館アリーナ 記念碑 寄贈

日 時 2015年8月1日 土曜日
場 所 函館アリーナ 花時計前
担当部会 65周年実行委員会 運営部会 部会長 藤井 辰吉

《事業趣旨》

65年の長きにわたり我々の活動を支えてくださった地域に対し改めて感謝の意を示すとともに、地域のかたがたに函館青年会議所の存在を認知していただく機会が必要です。



WELCOME to HAKODATE

この花時計は1970年の函館市民会館開設記念として函館青年会議所より寄贈。2015年函館アリーナ開設に伴い、現位置に移設。

This flower clock was contributed from Hakodate Junior Chamber as an establishment commemoration of Hakodate Civic Hall in 1970. And it was relocated to the present location for Hakodate Arena establishment in 2015.

2015年 8月 吉日 創立65周年記念事業
一般社団法人 函館青年会議所

《事業を終えて》 部会長 藤井 辰吉

運営部会は、記念式典・祝賀会における案内状の発送、ご出席者予定者との当日までの調整、出席御礼を担当したほか、1970年に市民会館開設記念に寄贈した花時計が、函館アリーナ開設に伴い移設されたことに伴って、改めて記念碑を寄贈しました。花時計とともに多くのかたの目に触れることで函館青年会議所と地域のつながりを意識していただければという願いと、地域への感謝を表しています。





1950年代の函館山からの風景（函館市中央図書館蔵）



2015年の函館山からの風景

65年のあゆみ

《創立への序曲》

敗戦の悪夢いまださめやらぬ昭和24年8月24日であった。東京地方の新聞に「東京青年商工会議所発足」のニュースが報じられた。そのとき若き商工会議所議員のひとりであった三本木博氏（当時33歳）は、この新鮮な記事を読んで、この函館の沈滞した現状からみて、この団体こそわがまちに必要であると痛感するのである。そして、やはり函館の危機を憂う大先輩堤清次郎氏（当時商工会議所前会頭）もまた青年商工会議所に関心をもち、その目的や運営状況を調べ、渡辺孝平氏（当時商工会議所副会頭38歳）平田淳二氏（当時商工会議所総務課長）と語り、三本木議員に、函館青年商工会議所の設立を熱心に促したのである。

あけて昭和25年4月5日、渡辺孝平副会頭、平田淳二総務課長、三本木議員の三氏は、

- ① 本会を早急に創立する。
- ② 会員の年齢を21歳以上35歳までとする。

以上の方針を固め

- ① 創立世話人会
- ② 準備委員会
- ③ 創立総会

上記の順序で創立する方向づけを確約しあい行動を開始したのである。

当時、35歳未満で商工会議所議員として名を連ねていた秦良平氏、樋口哲男氏、細野隆蔵氏、高橋美紗雄氏、三本木博氏の5人は相馬哲平会頭（当時商工会議所会頭）の名前で世話人に委嘱され、4月17日に世話人会を開き、ここで創立準備委員長に三本木氏が推薦された。これと並行して、「函館青年商工会議所設立趣意書」を商工会議所議員、市内の主だった会社ならびに商社へ回し優秀なる会員の推薦方を要望し、つぎつぎと馳せ参じた青年経済人諸氏を含めて準備委員会を結成、勇躍母体ができあがっていった。

《函館青年商工会議所設立趣意書》

新生日本の行手には幾多の試練と苦難に満ちた茨の道を覚悟せねばなりません。

この困難に打克って国内経済の充実を図り国際経済と密接に提携して行く為には、精力的な熱意と積極的な実践力を持つ青年に俟つ処大なるものありと確信致します。

その大任を果す為我々青年は凡ゆる機会をとらえて互に団結し自らの修養に努めなければなりません。

既に欧米の各地に於て、青年商工会議所が設立せられ、1946年にはこれらの世界的連絡機関として国際青年商工会議所さえ設立されて居り、我国に於ても昨年東京に青年商工会議所が誕生したのを嚆矢とし、各都市に於て設立の機運が澎湃として湧きあがって参りました。

我々は此の度これらの国際並びに国内機関と密接なる連携のもとに青年独自の立場に於て会員相互の啓発と親睦を図り、且つ商工業に関する諸問題を調査研究し以て将来強力な活動の素地を作るを目的とし函館市内において商工業を営む者又は関係ある者にして25歳以上35歳以下の同志相寄り茲に函館青年商工会議所の設立を企図した次第であります。

昭和25年4月
函館青年商工会議所設立準備一同

4月24日開催の準備委員会は、

- ① 5月5日子供の日に創立総会を開催
- ② 総会に提出する会則案、予算案を決定
- ③ 準備委員が、適切と思われる人を創立総会までに会員を推せんすること

上記三項目を採択、また、創立準備事務と創立後の事務局長に商工会議所より業務課長笠原見氏に担当していただくことのご了解をえた。

当時の準備委員諸氏は、沈滞した函館の経済再建を推進するためのピンチヒッターであり、創立される青年商工会議所の活動いかにその成否を左右するだろうというそれぞれの責任感と使命感に燃え、目前に迫る函館青年商工会議所結成に情熱を傾けたのである。設立趣意書を一読すれば函館JC創始の精神が脈々と波打って伝わってくる。

おりしも、東京青年商工会議所から全国青年商工会議所懇談会への招待があり、三本木氏が、今後の運営方針の確立などにより機会でもありとして上京、会場の日本工業クラブへむかった。創立総会を四日後に控えた5月1日であった。

会場には、東京、大阪、前橋、函館、神戸、大宮、名古屋、千葉、芦品からそれぞれの代表が参集した(総員21名)。三輪東京JC理事長より「自分の狭い仕事のみにとじこもって、とかく視野が狭くなりがちなわれわれ若いものがまず、おおいに学んでおのれの知識を広め人生観を確立し、社会の奉仕者たらんとし、それとともに世界観を確立して世界平和のため貢献しなければならぬこれを実現させるため友人あひ集って東京青年商工会議所を設立したのであり、その後外国の青年商工会議所と連絡ができ、国内におきましても各都市にその設立準備が進められておるところもあります。このときに東京青年商工会議所がおせわをして設立できたところ、設立準備の気運のあるところの諸氏にお集まりを願ひ今回の会合を開催したものであります」というあいさつがあった。

東京JC理事長が議長となり、

- ① 青年商工会議所の目的に関する件
- ② 商工会議所法通過による本会名称の件
- ③ バッジ制定の件
- ④ 日本全国の連絡機関について

以上の重要案件を協議し、①は神戸代表提案のニュージーランドJCの目的三カ条が本会の趣旨と一致しているので参考にし、簡単明瞭にまとめて

個人の修練 Training
社会への奉仕 Service
世界との友情 Friendship

T. S. F運動にしようとして決定した。②は商工会議所法がとおったばあい商工という名称がもちいらなくなるのでこのさい、今後名称の変更が起らないよう真剣に考えたすえ、函館代表提案の商工を抜いただけの「青年会議所」の名称に決定した。③はJとCを組み合わせたものとし、デザインは東京青年会議所に一任、④は東京青年会議所の、あくまでローカル運動としての自発的出発に基礎をおくという考え方から、しばらくのあいだ各地代表の懇談会を結成しにちに各地に多数の会が創立されてから、あくまで連絡機関としての日本青年会議所を設立しようとして採択された。

この会議は非常に重大な意義をもつものであった。JC三原則。JC名称。日本JC設立の気運。特にJC三原則は、青年会議所運動が燎原の火のごとく全国に広がっていった鍵となり、ここにうち立てられた不滅の金字塔に由来するといっても過言ではない。

《創立総会》

5月5日、函館JC設立総会が、函館商工会議所三階ホールにおいて厳粛に開催された。議長三本木氏、会員68名、来賓宗藤市長、相馬商工会議所会頭、北海道知事代理渡島支庁長、ハースギーCIF図書館長、CIC隊長、辻日銀支店長など多くの名士を迎え祝辞をいただいた。特に辻日銀支店長が「函館市の現状および将来のために期待している」と激励され、会員一同は責任の重大さをひしひしとこみしめていた。



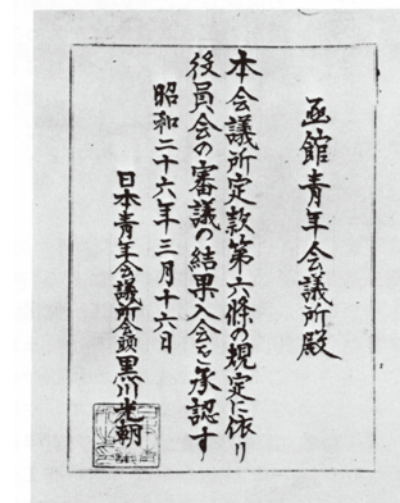
函館青年会議所創立総会



青年会議所発足新聞記事
昭和25年5月6日「函館新聞」記事(函館市中央図書館蔵)

《ナンバー4認証》

昭和25年8月、11月と全国JC懇談会が続けられ、さらに12月16日名古屋において、第一回日本青年会議所設立準備会開催、あけて昭和26年1月12、13日の両日にわたって第2回設立準備会開催、ここでは予算、定款、事業計画を討議、2月9日東京商工会議所会議室において日本青年会議所創立総会が開催され、ここに国家JCが誕生したのである。参加JCは大阪、西宮、名古屋、東京、前橋、函館、旭川と十指に満たないが、青年の未来にかける意気と決意は熱気となって息詰るほどのものがあつた。そして昭和26年3月16日第3回日本JC役員会において、函館JCは、創立一年後登録番号全国ナンバー4として正式に認証されたのである。日本青年会議所初代会頭は黒川光朝氏であった。



承認証



《 65周年ロゴマーク 》

4色の輪は第61代～64代までの歴代理事長カラーを使用し、年号とHAKODATE No. 4の表記に第65代理事長カラーを使用することで歴史を紡いできたことを表現しております。

- ピンク：第61代理事長 加藤 宏樹
- オレンジ：第62代理事長 西村 有人
- グリーン：第63代理事長 松浦 慎太郎
- レッド：第64代理事長 國本 直弘
- ブルー：第65代理事長 横田 貴之

5年間の軌跡
2011～2015年



MESSAGE

2011



社団法人 函館青年会議所
第61代理事長

加藤 宏樹

一般社団法人函館青年会議所創立65周年を心よりお祝い申し上げます。
思い起こせば5年前、創立60周年実行委員長として式典・事業の準備の為、当時のメンバー達と過去の資料を確認しながら議論を重ね、悪戦苦闘しながら開催した60周年の式典や事業が昨日の事の様に思い出されます。「我々が活動しているそのベースには60年間、地域の為に汗を流してきた諸先輩の積み重ねがあるからこそ、今この瞬間も函館青年会議所がこの街に存在し、我々が活動出来ている。」実行委員長として活動していた当時そんな事を思いながら活動しておりました。
長い歴史の中で、函館青年会議所はその時その瞬間に、「今この街に何が必要なのか」「この街の未来の為に、今何をしなければならないのか」との想いを胸に活動してきたのだと思います。一人一人が出来る事は限られています。しかし、熱い想いを持ったメンバーが結集し、街の為、地域の為、子供たちの未来の為に、自ら考えそして自ら行動する事が青年会議所の意義であり、本質なのだろうと思います。さらには、青年会議所の持つ北海道、日本、そして世界へと広がるネットワークの中で切磋琢磨し、その中で得た知見を地域の為に発揮していくのも青年会議所のもう一つの意義であろうと思います。
65年の節目の年を迎え、たくましく成長した現役メンバーの皆さんの目の前には2016年3月に開業する北海道新幹線、そして同年9月に開催される第65回北海道地区大会函館大会の主管と、大きく羽ばたく機会が待っております。2006年以來10年ぶりの北海道地区大会主管となりますが、函館青年会議所らしく、慣例に因わずに今の時代にあった地区大会の姿を作りあげてOBの一人として大いに期待しております。
来たる70周年に向けて、現役メンバーの皆さんが作りあげるこれからの函館青年会議所の更なるご発展とメンバーの皆さんのご活躍を心より祈念し、お祝いの言葉に代えさせていただきます。

MESSAGE

2012



社団法人 函館青年会議所
第62代理事長

西村 有人

一般社団法人函館青年会議所が創立65周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。1950年の設立以来、65年の長きに渡り脈々と受け継いでこられた先輩諸氏をはじめ、今も尚、「明るい豊かな社会の実現」に向けて日々活動を続けている現役メンバーの皆様にご敬意を表するとともに、私自信65年の歴史の1ページとともに活動させていただいたことに改めて感謝と御礼を申し上げます。
学び舎とも言われるJCで培った経験は卒業してからの人生においても大いに発揮できるものばかりであります。街のため、地域の人たちのために、日夜活動する日々を繰り返していく中で、刻まれ、積み重ねられていく経験と多くの人たちと出会った絆は生涯においての「宝」であります。
現役時代はわたしも多くの経験を積ませていただきました。夜遅くまでの会議、毎週末の遠征、常に根拠を求められ、何がしたいかわからなくなったり。こんな毎日を過ごしながら、一日一日、ひとつひとつが経験となり大きくなっていくわけです。全ては「明るい豊かな社会の実現」に向けて、世のため、人のために活動をするJCは人材育成として大きな役割を担っています。世のため、人のために活動していれば、最後には必ず自分のためになる。そんなことを信じて活動して参りました。
現役メンバーの皆様方には今いる間、何事にもチャレンジ精神で挑む気概をもって様々な経験を積んでいただきたいと思います。無理をせず、問題や課題を避けた無難な事業よりも、失敗を恐れず、無理をして、果敢に挑戦し大きな大きな成果に向けて真っすぐに突き進むことこそが大きな成長へと繋がります。
移りゆく時代の中で、1年1年を積み重ねて、この街の発展のため、世のため、人のため、そして自分の成長のために、これからも活動を続けて行く函館青年会議所の活躍に期待をしております。

MESSAGE

2013



一般社団法人 函館青年会議所
第63代理事長

松浦 慎太郎

節目の年に私自身、現役会員として携われることに、さらなる喜びと感謝の気持ちでいっぱいでありました。創立65周年を心よりお祝い申し上げます。創立以来、地域を想う高い志と情熱をもって、時代の潮流に正面から向き合い、青年らしく勇猛果敢に挑戦し、歴史を紡いでこられた先輩諸氏に心から敬意を表します。社会環境が変化の中で運動や活動の形は変われども、創始の精神と青年としての熱い情熱と気概は決して途絶えることなく確実に受け継がれております。まちの発展を願い若者らしく失敗を恐れず、時代に即した運動を展開してきました。そこで得た多くの経験、出会いが生涯の財産になるものであると確信しております。
まちの発展を願い運動を展開する団体は数多く存在します。青年会議所も数ある中の一つと思われている程度かもしれませんが。縁あって入会する事が出来た現役会員は、どのように感じているのでしょうか。大変な時代と言われる今、青年会議所に入会させていただいている事に幸せを感じているのでしょうか。家族や会社、社員の支えがあって、会員でいれることに今一度、感謝の気持ちと幸せを感じてください。その幸せを感じる事ができたのなら、支えてくれている人たちの期待に応えられるように、今よりもっと真剣に取り組んでください。限界を自分で決めずに若者らしく積極的に挑戦してほしい。ここでしか経験できない、実現できない事があるはずですよ。
青年会議所の現役会員は40歳で卒業という活動期間に限りがあります。「明るい豊かな社会の実現」に向けて青年期である現役時代に、互いの存在を認め合い、刺激し合い、励まし合い、助け合い、多くの出会い、多くの活動を通じて自分磨きをする。そんな魅力溢れる団体は青年会議所しかないと思っております。「若き情熱の結集」今こそ果敢に挑戦する未来の為に、現役会員皆様の益々の活躍を期待しております。
結びに、これまで函館青年会議所を育ててくださった各界各層関係者および地域の皆様へ、心より感謝申し上げますとともに、これからも変わらぬご支援ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

MESSAGE

2014



一般社団法人 函館青年会議所
第64代理事長

國本 直弘

一般社団法人函館青年会議所の創立65周年の素晴らしい瞬間を現役として迎える事ができた事に光栄に感じるとともに、この歴史を紡いで来られた先輩諸氏に対しまして深く感謝・御礼申し上げます。
青年会議所は、いつの時代も変わりなく地域を良くしたいと想う青年の集まりであり、65年の歴史の中で常に創始の精神を重んじながら、時代に合わせ地域発展の為に活動を続け今日を迎えたのであります。これからも創始の精神は忘れず、しかし時代の変化を敏感に感じ、時代にあった運動を展開していく必要があり、そして常に時代の先駆者としてJCにしかできない事を考え行動していく事が大切です。
人はひとり生きて行けるものではなく必ず誰かと関わりを持ち、何かをしようとする時には人の協力や支えがあって物事を成し遂げる事が出来ます。わたくし自身、これまで多くの人に支えられてきました。その事を本当に感じる事が出来たのが函館青年会議所でありました。メンバーの皆様には会社があり、家庭があり、子どもと一緒にいる時間が大切な時期で時間を作る事が難しい環境にある方も少なくないと思います。しかし、ここは切磋琢磨しながら成長することができる環境が整っているところであり、また本当に支えあえる素晴らしい仲間がたくさんいるという事を皆様には感じて頂きたいと思っております。
40歳までという限られた時間の中でどれだけ真剣にJC活動する事が出来たかで今後の人生において大きな影響を与えると思っております。
時にはぶつかり合う事があるかもしれませんが真剣に議論を重ね、そしてメンバー同士支えあひながら、チャレンジ精神のもと失敗を恐れず若者にしかできない運動を展開していく事を期待しております。

2011年度 平成23年 LOMスローガン

「見つけ出せ新しい自分
自己の成長が未来をつくる」



第61代 理事長 **加藤 宏樹**

副理事長 西村 有人 干山 毅
中野 拓
専務理事 北橋 誠



1月例会「新年交礼会」



2月例会「函館のまちづくりを考える
～明るい豊かな未来のために～」



3月例会「あなたが目指すリーダー像とは！」



4月例会「みんなで実践!会員拡大」



5月例会「全国城下町シンポジウム函館大会に向けて
～知られざる箱館(奉行所)の歴史と魅力～」



7月例会「学ぼう函館の歴史と文化
～全国城下町シンポジウム函館大会に向けて～」

2011年 主な活動

- 1月 1月16日 1月例会「新年交礼会」
担当委員会 広報渉外委員会 委員長 後藤 広貴
- 2月 2月16日 2月例会「函館のまちづくりを考える
～明るい豊かな未来のために～」
担当委員会 未来研究委員会 委員長 福西 秀幸
- 3月 3月16日 3月例会「あなたが目指すリーダー像とは!」
講師 玉川 祐一 先輩
担当委員会 会員研修委員会 委員長 今井 由紀
3月25日 函館市長選挙「公開討論会～函館市の未来を選択する～」
担当委員会 未来研究委員会 委員長 福西 秀幸
- 4月 4月20日 4月例会「みんなで実践!会員拡大!」
担当委員会 拡大交流委員会 委員長 高井 里子
- 5月 5月18日 5月例会「全国城下町シンポジウム函館大会に向けて
～知られざる箱館(奉行所)の歴史と魅力～」
担当委員会 広報渉外委員会 委員長 後藤 広貴

〈2011年函館市の主な出来事〉

- 築地初競りで戸井マクロ史上最高額1本3,249万円
- 東北地方太平洋沖地震発生
- 函館市東日本大震災復興支援本部を設置
- ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンに函館山からの眺望が三ツ星として掲載
- 韓国高揚市と姉妹都市提携締結
- 青函連絡船記念館周丸と可動橋が機械遺産に認定
- 縄文文化センターオープン
- 東京のローソン京橋駅前店に函館市アンテナショップ開設



JCデー 第2回 函館宝探し「箱館偉人伝説
～偉人たちからの挑戦状～」



8月例会「スキルアップ～自己を知り、相手を知る～」



10月 陸前・高田ボランティア

- 6月 6月5日 道南エアスポーツ大会 余市大会 LOMPR「函館らしくPR!」
担当委員会 拡大交流委員会 委員長 高井 里子

- 7月 7月20日 7月例会「学ぼう函館の歴史と文化
～全国城下町シンポジウム函館大会に向けて～」
講師 函館市立函館博物館 館長 田原 良信 氏
担当委員会 地域連携委員会 委員長 清水 暢一

- 7月 7月16日～8月21日 JCデー 第2回 函館宝探し「箱館偉人伝説
～偉人たちからの挑戦状～」
担当委員会 地域連携委員会 委員長 清水 暢一

- 8月 8月17日 8月例会「スキルアップ～自己を知り、相手を知る～」
講師:ヘッドトレーナー 笹嶋 隆廣 氏
担当委員会 会員研修委員会 委員長 今井 由紀

- 9月 9月21日 9月例会「踏み出そう一歩～今この瞬間から～」
担当委員会 総務運営委員会 委員長 野口 文介

- 10月 10月19日 10月例会「食の可能性を考えよう!!～地域活性の為に行動を～」
担当委員会 地域連携委員会 委員長 清水 暢一

- 11月 11月16日 11月例会「函館青年会議所～未来へ繋ぐ架け橋～」
担当委員会 未来研究委員会 委員長 福西 秀幸

- 12月 12月14日 12月例会「卒業生を送る夕べ」
担当委員会 拡大交流委員会 委員長 高井 里子



10月例会「食の可能性を考えよう!!
～地域活性の為に行動を～」



11月例会「函館青年会議所～未来へ繋ぐ架け橋～」

「地域第一主義による強い地域の創造」
～限界突破の行動が自らの成長と地域の発展に～



第62代 理事長 **西村 有人**

副理事長 田崎 隆将 松浦 慎太郎
牧野 源之
専務理事 中川 達司

全国城下町シンポジウム
函館大会主管実行委員長 中野 拓



1月例会「新年交礼会」



2月例会「市長例会」



3月例会「地域資源～エゾシカの有効活用を考える～」



4月例会「こどもと真剣に向き合うということ。」



5月例会 道南エリアスポーツ大会 倶知安大会
「函館JCの絆を一つに!」



JCデー 第3回 函館宝探し「箱館異国の城下町伝説
～美しき情景、思い新たに～」

2012年 主な活動

- 1月 1月15日 1月例会「新年交礼会」
担当委員会 情報発信委員会 委員長 時田 真一
- 2月 2月15日 2月例会「市長例会」
講師:函館市長 工藤 壽樹 氏
担当委員会 地域振興委員会 委員長 國本 直弘
- 3月 3月14日 3月例会「地域資源～エゾシカの有効活用を考える～」
講師:BISTRO HAKU 笠原秀友 オーナーシェフ
担当委員会 地域の魅力委員会 委員長 福西 秀幸
- 4月 4月21日 4月例会「こどもと真剣に向き合うということ。」
講師:石川 結貴 氏
担当委員会 未来創造委員会 委員長 辰巳 博康
- 5月 6月2日～6月3日 5月例会
道南エリアスポーツ大会 倶知安大会
「函館JCの絆を一つに!」
担当委員会 拡大交流委員会 委員長 野口 丈介

〈2012年函館市の主な出来事〉

- 北海道新幹線の札幌延伸が認可
- 函館駅花いっぱい事業を実施
- 市制施行90周年記念式典
- 真夏日過去最多(14日間)を記録
- 南極観測船「しらせ」入港
- 復興航空が「函館～台北」間に定期便を就航
- はこだてグルメサカス開催(2日間で16万人が来場)
- 市議会「大間原子力発電所建設の無期限凍結を求める決議」を可決



第31回 全国城下町シンポジウム函館大会主管 メインフォーラム
青年よ大志を抱け 街の未来はあなたが変える!



第31回 全国城下町シンポジウム函館大会主管 大交流会
「道南フェスティバル～音楽と食の祭典～」



9月例会「みんなで実験!わくわく体験!
ふれあいキッズスクール」

6月 6月23日～6月24日 第31回 全国城下町シンポジウム函館大会主管
メインフォーラム 青年よ大志を抱け 街の未来はあなたが変える!
講師:(株)CREATIVE OFFICE CUE 鈴木 貴之 氏
大交流会 「道南フェスティバル～音楽と食の祭典～」

7月 7月14日 7月例会「第31回 全国城下町シンポジウム函館大会
成功感謝の集い～明日への"糧"に～」
担当委員会 情報発信委員会 委員長 時田 真一

8月 7月28日～8月26日 JCデー 第3回 函館宝探し「箱館異国の城下町伝説
～美しき情景、思い新たに～」
担当委員会 地域の魅力委員会 委員長 福西 秀幸

9月 9月15日～9月17日 9月例会「みんなで実験!わくわく体験!ふれあいキッズスクール」
担当委員会 未来創造委員会 委員長 辰巳 博康

10月 10月24日 10月例会「これからの観光スタイルのあり方～地域活性化に向けて～」
講師:組織力創造アドバイザー 山田 桂一郎 氏
担当委員会 地域振興委員会 委員長 國本 直弘

11月 11月14日 11月例会「観光地ははこだてフォーラム～みんなの意識が函館をつくる～」
講師:内閣府「地域活性化伝道師」清水 慎一 氏 フリーアナウンサー 青山 夕香 氏
担当委員会 情報発信委員会 委員長 時田 真一

12月 12月12日 12月例会「卒業生を送る夕べ」
担当委員会 拡大交流委員会 委員長 野口 丈介



10月例会「これからの観光スタイルのあり方
～地域活性化に向けて～」



11月例会「観光地ははこだてフォーラム
～みんなの意識が函館をつくる～」

2013年度 | 平成25年 LOMスローガン

「～今、変革の時・創造から行動へ～」
若き情熱で共に切り拓こう！活力ある地域の新時代



第63代 理事長 **松浦 慎太郎**

副理事長 堀田 剛史 安田 浩敏
中川 達司
専務理事 國本 直弘



1月例会「新年交礼会」



2月例会「市長例会 ～地域の更なる活性化をめざして～」



3月例会「青年会議所活動と向き合う」



4月例会「共につくりよう地域の未来！
～道南の魅力ある食資源～」



5月例会 道南エリアスポーツ大会 日高中部大会
「心はひとつ!若き情熱の結集」



6月例会「地域を担うリーダーとして!」

2013年 主な活動

- 1月 1月 公益法人改革に伴い一般社団法人函館青年会議所としてスタート
1月13日 1月例会「新年交礼会」
担当委員会 広報渉外委員会 委員長 川代 知道
- 2月 2月13日 2月例会「市長例会 ～地域の更なる活性化をめざして～」
講師:函館市長 工藤 壽樹 氏
担当委員会 活力創造委員会 委員長 中山 治
- 3月 3月14日 3月例会「青年会議所活動と向き合う」
講師:社団法人小田原青年会議所OB 上田 博和 氏
担当委員会 会員交流委員会 委員長 時田 真一
- 4月 4月18日 4月例会「共につくりよう地域の未来! ～道南の魅力ある食資源～」
講師:キャスター 佐藤 のりゆき 氏 八百ねっと 高坂 重勝 氏
函館ビヤホール総料理長 福井 孝敏 氏 函館大学商学部 西村 淳 氏
担当委員会 地域活性化委員会 委員長 濹田 孝
- 5月 5月11日～5月12日 5月例会
道南エリアスポーツ大会 日高中部大会「心はひとつ!若き情熱の結集」
担当委員会 会員拡大委員会 委員長 大日向 勇人

〈2013年函館市の主な出来事〉

- 青函圏観光都市会議設立(函館、青森、弘前、八戸)
- 函館一大間間に新造船「大函丸」就航
- 客船「サンプリンセス」(過去最大77,441t)初寄港
- 路面電車開業100周年
- GLAY Special Live 2013 in HAKODATE開催
- 港まつりで「青森ねぶた海上運行」を実施
- 2020年夏季オリンピックの東京開催が決定
- ドクターヘリのシミュレーション運航



11月1日 事務局移転

6月 6月13日 6月例会「地域を担うリーダーとして!」
講師:C.N.S講話し方研究所 福田 健 氏
担当委員会 広報渉外委員会 委員長 川代 知道

7月 7月17日 7月例会「組織力の向上の為に」
担当委員会 会員交流委員会 委員長 時田 真一

8月 8月2日 「ワッショイはごだて」青年団体合同参戦!
担当委員会 会員交流委員会 委員長 時田 真一

9月 9月22日 JCデー 「第2回道南フェスティバル ～MADE IN DONAN～」
担当委員会 地域活性化委員会 委員長 濹田 孝

10月 10月12日 10月例会「青函合同例会 ～青函の更なる発展をめざして～」
担当委員会 活力創造委員会 委員長 中山 治

11月 11月1日 海岸町へ事務局移転
11月13日 11月例会 会員大会「今夜決定!2013年度 青デミー賞 会員大会 in Yunokawa」
担当委員会 総務委員会 委員長 竹田 賢司

12月 12月11日 12月例会「卒業生を送る夕べ」
担当委員会 会員拡大委員会 委員長 大日向 勇人



JCデー「第2回道南フェスティバル～MADE IN DONAN～」



10月例会「青函合同例会～青函の更なる発展をめざして～」



11月例会「今夜決定!2013年度 青デミー賞
会員大会 in Yunokawa」



12月例会「卒業生を送る夕べ」

2014年度 | 平成26年 LOMスローガン

「努力は無限の可能性」
～行動力で街の更なる発展へ～



第64代 理事長 **國本 直弘**

副理事長 横田 貴之 後藤 広貴
堀田 剛史 辰己 博康
専務理事 竹田 賢司



1月例会「新年交礼会」



2月例会 市長例会「青函連携強化の重要性」



3月例会「地域の魅力再発見～活かそう街の可能性!～」



4月例会「やってみよう!函館のいろんなしごと」



6月 第1例会「今、一歩踏み出すために、行動力を高めよう」



特別事業「第1回わんぱく相撲函館場所福島大会」

2014年 主な活動

- 1月 1月11日 1月例会「新年交礼会」
担当委員会 広報渉外委員会 委員長 野又 淳司
- 2月 2月12日 2月例会市長例会「青函連携強化の重要性」
講師 函館市観光コンベンション部 部長 布谷 朗 氏
担当委員会 地域振興委員会 委員長 五十嵐 慎悟
- 3月 3月12日 3月例会「地域の魅力再発見～活かそう街の可能性!～」
講師 函館市観光コンベンション部 主査 倉橋 基幸 氏
担当委員会 地域創造委員会 委員長 今井 一人
- 4月 5月11日 4月例会「やってみよう!函館のいろんなしごと」
担当委員会 未来創造委員会 委員長 藤井 辰吉

〈2014年函館市の主な出来事〉

- 渡島・檜山管内17市町と定住自立圏形成協定終結
- 大間原発の建設差し止めを求め東京地裁へ提訴
- 五稜郭築造150年祭開幕
- 国際水産・海洋総合研究センターオープン
- 北海道新幹線駅名「新函館北斗」に決定
- 地域ブランド調査2014で函館市が魅力度全国第1位に
- 青函ツインシティ提携25周年記念式典開催
- 函館市合併10周年記念フォーラム開催



7月例会 第4回 宝探し「～青函の魅力を知る旅へ～」



JCデー「第3回道南フェスティバル～来て・見て・体感、道南の魅力～」



9月例会「新たな友とのEnjoy 3days
～ミッション!函館山を攻略せよ!～」

- 6月 6月11日 6月第1例会「今、一歩踏み出すために、行動力を高めよう」
担当委員会 広報渉外委員会 委員長 野又 淳司
- 6月22日 特別事業「第1回わんぱく相撲函館場所福島大会」
担当委員 未来室 室長 大日向 勇人
- 6月28日～29日 6月第2例会 道南エアスポーツ大会 岩内大会
「努力を積み重ね、さらなる飛躍へ」
担当委員会 会員拡大委員会 委員長 野村 慎祐

- 7月 7月26日～8月17日 7月例会 第4回 宝探し「～青函の魅力を知る旅へ～」
担当委員会 地域振興委員会 委員長 五十嵐 慎悟

- 8月 8月3日 「3LOM合同でわっしょい!ワッショイはこだて!」
担当委員会 広報渉外委員会 委員長 野又 淳司
- 8月31日 JCデー「第3回道南フェスティバル～来て・見て・体感、道南の魅力～」
担当委員会 地域創造委員会 委員長 今井 一人

- 9月 9月5日 公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会
第65回北海道地区大会誘致決定(2016年9月2日～4日開催)
- 9月13日～15日 9月例会「新たな友との Enjoy 3days ～ミッション!函館山を攻略せよ!～」
担当委員会 未来創造委員会 委員長 藤井 辰吉

- 10月 10月15日 10月例会「これからの函館は若者が救う!」
担当委員会 地域振興委員会 委員長 五十嵐 慎悟

- 11月 11月12日 11月例会 会員大会「H-1グランプリ2014 栄冠は誰の手に!!」
担当委員会 総務委員会 委員長 柳 順也

- 12月 12月10日 12月例会「卒業生を送る夕べ」
担当委員会 会員拡大委員会 委員長 野村 慎祐



10月例会「これからの函館は若者が救う!」



11月例会「H-1グランプリ2014 栄冠は誰の手に!!」

2015年度 | 平成27年 LOMスローガン

「地域に笑顔と感動を」
～65年分の感謝を込めて～



第65代 理事長 **横田 貴之**

65周年実行委員長 後藤 広貴
副理事長 中山 治 福西 秀幸
 蒔田 孝
専務理事 柳 順也



1月例会「新年交礼会」



2月例会 市長例会「希望に満ちあふれた道南圏の創造」



3月例会 同友会合同例会
「いまこそ先輩から学び、JAYCEEの資質を高めよう!」



4月例会「地域の魅力調査団～みんなでつくりあげよう!街の活気!～」



5月例会「出向の可能性とLOMの成長」



6月例会 第10回 道南エアスポーツ大会白老大会
「気持ちを一つに揺るがない結束力を」

2015年 主な活動

- 1月 1月10日 1月例会「新年交礼会」
担当委員会 広報渉外委員会 委員長 池野 裕二郎
- 2月 2月10日 2月例会 市長例会「希望に満ちあふれた道南圏の創造」
講師:函館市長 工藤 壽樹 氏
担当委員会 未来戦略委員会 委員長 嘉堂 聖也
- 3月 3月11日 3月例会 同友会合同例会
「いまこそ先輩から学び、JAYCEEの資質を高めよう!」
担当委員会 資質向上委員会 委員長 小林 周平
- 4月 4月15日 4月例会「地域の魅力調査団 ～みんなでつくりあげよう!街の活気!～」
コーディネーター:函館市地域交流まちづくりセンター センター長 丸藤 競 氏
担当委員会 地域の力創造委員会 委員長 佐藤 将道
- 5月 5月13日 5月例会
「出向の可能性とLOMの成長」
講師:2010年度公益社団法人 日本青年会議所会頭 相澤 弥一郎 先輩
担当委員会 広報渉外委員会 委員長 池野 裕二郎



「JAYCEE育成塾(第4回)」



7月例会「今日から実践!誰もが目指せる向上心を持った真のリーダーへ!」



新幹線開業前イベント JCデー
「Power to the 道南!～地域の魅力を解き放て～」

〈2015年函館市の主な出来事〉

- 道南ドクターヘリが運航開始
- 統一地方選挙実施
- 函館新外環状道路開通「函館IC～赤川IC間」
- 8月1日函館アリーナオープン
- 8月1日函館フットボールパークの新設人工芝グラウンドオープン
- はこだてグルメサカス2015開催
- 北海道新幹線開業が3月26日に決定
- 地域ブランド調査2015で2年連続1位獲得

- 5月 5月30日 「創立65周年記念式典・記念祝賀会」
担当部会 式典部会 部長 竹田 賢司
 懇親部会 部長 五十嵐 慎悟
 運営部会 部長 藤井 辰吉
- 6月 6月14日 「第2回わんぱく相撲函館場所福島大会」
担当委員会 未来戦略委員会 委員長 嘉堂 聖也
6月27日～6月28日 6月例会 第10回 道南エアスポーツ大会白老大会
「気持ちを一つに揺るがない結束力を」
担当委員会 拡大交流委員会 委員長 上原 亮太
- 7月 7月3日 7月例会「今日から実践!誰もが目指せる向上心を持った真のリーダーへ!」
講師:2014年度公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会会長 山口 龍二 先輩
担当委員会 資質向上委員会 委員長 小林 周平
7月26日 新幹線開業前イベント JCデー 「Power to the 道南!～地域の魅力を解き放て～」
担当委員会 地域の力創造委員会 委員長 佐藤 将道
- 8月 8月2日 「祭りだ!!!フッショイ!!!はこだて」
担当委員会 拡大交流委員会 委員長 上原 亮太
- 9月 9月4日～9月6日 9月例会「北海道地区大会函館大会、伝達の間へ」
担当委員会 広報渉外委員会 委員長 池野 裕二郎
9月20日 創立65周年記念事業「稲葉篤紀氏が語る ～夢に向かって全力疾走～」
講師:株式会社北海道日本ハムファイターズ SCO 稲葉 篤紀 氏
担当部会 事業部会 部長 時田 真一
9月25日 「全国大会八戸大会青函合同ブース出展」
担当委員会 未来戦略委員会 委員長 嘉堂 聖也
- 10月 10月10日 10月例会 青函合同例会「青函の未来へ向けて」
講師:津軽海峡マクロ女子会 島 康子氏 杉本 夏子氏
担当委員会 未来戦略委員会 委員長 嘉堂 聖也
- 11月 11月11日 11月例会 会員大会「～函館JC65周年～ オールスター大感謝祭2015」
担当委員会 総務運営委員会 委員長 渡辺 月次
- 12月 12月9日 12月例会「卒業生を送る夕べ」
担当委員会 拡大交流委員会 委員長 上原 亮太
- 2月～8月 第1～4回 「JAYCEE育成塾」開催
JAYCEE育成塾 塾長 清水 暢一 副塾長 川代 知道



9月例会「北海道地区大会函館大会、伝達の間へ」



10月例会 青函合同例会「青函の未来へ向けて」

1950 ▶ 1960

Junior Chamber International Hakodate



昭和25年～昭和35年

10周年記念事業 プラキストン・ライン碑建立



●1950年 函館青年会議所設立総会



●1952年 日本青年会議所役員会



●1954年 日本青年会議所 第3回全国会員大会(函館)



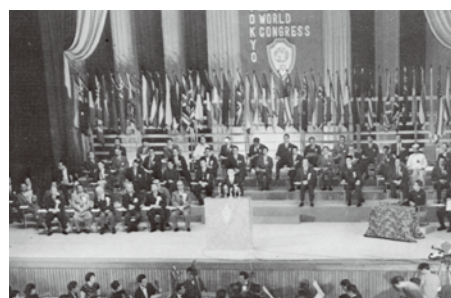
●1955年 孤児院を慰問 クリスマスプレゼントを贈る



●1956年 北海道地区会員大会(網走)



●1957年 会員懇親会(若松)



●1957年 東京世界大会



●1958年 北海道地区会員大会(釧路)



●1958年 松風町大門通りにJC花壇を設置



●1959年 会員大会



●1959年 創立10周年記念事業プラキストン・ライン碑建設



●1960年 第9回北海道地区会員大会(函館)



1950.5.5 ▶ 1951.6.30 | 昭和25年

初代 理事長 **三本木 博**

- 5月5日 函館青年会議所設立総会開催
- 5月26日 F・J・ハースキーCIE図書館長を招いて第1回例会開催
- 7月20日 函館港湾の視察を行なう
- 9月25日 函館港湾施設に関する意見書の作成と行政に対する働きかけ



1951.7.1 ▶ 1952.6.30 | 昭和26年

第2代 理事長 **三本木 博**

- 8月7日 東都学生会の「夏期講座」を後援
- 8月24日 第2回 全函館市高校討論会を後援
- 2月12日 函館海産物取引所を見学
- 3月11日 手形交換所の見学



1952.7.1 ▶ 1953.6.30 | 昭和27年

第3代 理事長 **秦 良平**

- 7月5日 青森JCとの交歓会開催
- 11月30日 韓国難民へクリスマスプレゼントを贈る
- 12月21日 新川町共愛会館で「クリスマスの集い」開催
- 3月24日 フランス文化使節、モンブラン氏を囲んで晩餐会開催
- 5月30日 博物館建設募金のための音楽会を主催



1953.7.1 ▶ 1954.6.30 | 昭和28年

第4代 理事長 **石館 孝三**

- 7月16日 第3回 全国会員大会の誘致決定
- 12月16日 立石弥二郎時事通信函館支局長のゲストスピーチ
- 2月17日 金子拓銀函館支店長の講演会
- 4月21日 「海底トンネルについて」その将来などを勉強する

副理事長 木島 保・茶碗谷 洋



1954.7.1 ▶ 1955.6.30 | 昭和29年

第5代 理事長 **木島 保**

- 8月14～15日 第3回 全国会員大会、函館JC主催で開催 全国から230名の会員参加
- 2月12日 西田道新編集長の講演会、テーマ「アメリカあちこち」
- 6月4日 五稜郭にこども動物園を作ろうという運動に協力、池田牧場などに動物の寄贈を依頼

副理事長 阿部 辰三・佐藤 輝夫
専務理事 笠原 晃



1955.7.1 ▶ 1956.12.31 | 昭和30年～31年

第6代 理事長 **木島 保**

- 8月17日 海上自衛隊函館基地隊司令部河野克治氏を招き、日本の安全と防衛について勉強会開催
- 12月7日 経済記者クラブとの懇談会
テーマは「函館経済の将来と若い世代に望むもの」
- 12月24日 孤児院を慰問 クリスマスプレゼントを贈る(以後継続事業となる)
- 1月31日～2月4日 国際親善のため児童画募集、150点集まる



1957.1.1 ▶ 12.31 | 昭和32年

第7代 理事長 **日下部 一博**

- 2月20日 海上保安部警備教習課長齊藤光氏を招く
- 4月17日 中国青年代表団が来函、交歓会を開き、中国との友好を深める
- 5月8日 大門通りにJC花壇の設置を検討する
- 9月22日 八戸JCと経済交流懇談会を開く

副理事長 加藤 博・堀田 純一
専務理事 笠原 晃



1958.1.1 ▶ 12.31 | 昭和33年

第8代 理事長 **日下部 一博**

- 2月19日 北海道新聞函館支社報道部、内山孝次郎氏を招いて例会を開催、テーマ「樺太引揚船白山丸に同乗して」
- 5月24日 松風町大門通りにJC花壇を設置
- 8月10日 へき地教育振興のため、上磯郡茂辺地字盤の沢、盤の沢小学校を訪問、その実体を調査し慰問する

副理事長 井口 敏夫・宮崎 一郎
専務理事 笠原 晃



1959.1.1 ▶ 12.31 | 昭和34年

第9代 理事長 **外崎 泰吾**

- 1月21日 定時総会 運営規定制定
- 5月24日 日本JC北海道地区協議会(旭川)で次年度全道会員大会開催地に函館が決定
- 8月25日 10周年記念事業として「プラキストン・ライン碑」建設に内定

副理事長 井口 敏夫・堀 光司
専務理事 斉藤 敏郎



1960.1.1 ▶ 12.31 | 昭和35年

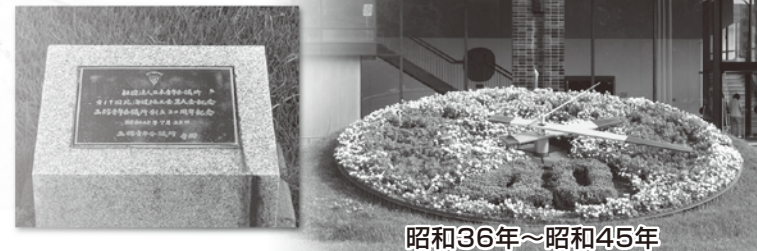
第10代 理事長 **外崎 泰吾**

- 4月20日 吉谷一次函館市長を招いて市政を勉強する
テーマ「函館市政のポイントと政策」
- 6月18～19日 函館JC10周年記念式典、第9回 全道会員大会に27JC250名が参加
- 8月3日 「全市花いっぱい運動」に協力

副理事長 井口 敏夫・鈴木 澄男
専務理事 斉藤 敏郎

1961 ▶ 1970

Junior Chamber International Hakodate

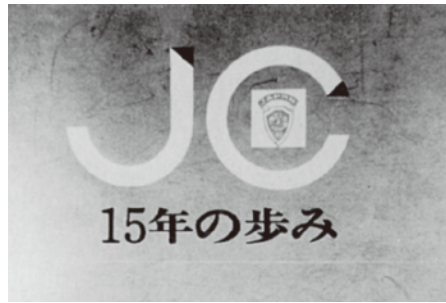


昭和36年～昭和45年

20周年記念事業 市民会館に花時計寄贈



●1963年 会員大会



●1965年 15周年記念誌



●1966年 会員大会



●1967年 交通安全協力隊結成



●1967年 第16回 全国会員大会(広島)



●1968年 青函トンネル工事調査



●1968年 一万人パレード



●1969年 地区大会



●1969年 青年センターへ寄贈



●1970年 創立20周年式典



●1970年 20周年記念事業 市民会館 花時計



●1970年 第19回全国会員大会打合せ風景



1961.1.1 ▶12.31 昭和36年

第11代 理事長 **鈴木 澄男**

- 2月8日 ゲストスピーチ「最近の金融状況と見通し」(矢島日銀支店長)
 - 3月8日 ゲストスピーチ「大野地区かんばい事業計画について」(栗林開発建設部長)
 - 4月6日 ゲストスピーチ「函館市経済の振興について」(常盤経済部長)
 - 11月14日 ゲストスピーチ「労働争議の事例と問題点」(渡辺国弘地労委員)
- JC花壇に水銀灯を設置
- 副理事長 沼崎 弥太郎・前多 信雄
専務理事 斉藤 敏郎



1966.1.1 ▶12.31 昭和32年

第16代 理事長 **池見 厚一**

- 8月5日 青森JC15周年記念式典に参加、函館、青森JC経済交流懇談会を開催(青森)
 - 9月1日 JCデー市政懇談会
 - 9月29日 七重浜埋立地の産業誘致について、勤労青少年ホームの設置促進について、市に要望書を提出
 - 10月23日 JC座禅会を高竜寺で開催
- 副理事長 小笠原 孝・小原 幸男・川内 淳司
専務理事 中島 茂



1962.1.1 ▶12.31 昭和37年

第12代 理事長 **中田 有**

- 4月26日 養護施設児童(白百合、厚生院、国の子寮)を市内見学に招待
 - 9月3日 JCデー、市長を囲む会「新産業都市について」
 - 9月13日 へき地校(鶴川小学校)を慰問、ソフトボール交歓試合を行なう
 - 12月18日 恵まれぬこどものためのチャリティショー「エル・シト特別試写会」を主催する
- 副理事長 沼崎 弥太郎・前多 信雄
専務理事 斉藤 敏郎



1967.1.1 ▶12.31 昭和42年

第17代 理事長 **小笠原 孝**

- 3月15日 青森JCとの青函経済交流懇談会(青森)
 - 4月1日 交通安全協力隊結成、第1回講習会を開く
 - 5月31日 交通安全協力隊、災害総合訓練に参加(大沼トンネル)
 - 7月5日 例会 小松上磯町長「市町村合併問題について」
 - 8月3日 青森JCとの青函経済交流懇談会(函館)
- 副理事長 萩野 清・金子 由雄・武田 正雄
専務理事 中島 茂



1963.1.1 ▶12.31 昭和38年

第13代 理事長 **沼崎 弥太郎**

- 3月19日 海外児童画交換のため市内児童画募集作品の審査会
 - 4月26日 白百合、厚生院、国の子寮の施設の子供(バス招待)(函館山登山)
 - 8月1日 施設の子供招待映画会
 - 9月3日 JCデー「市長を囲む会」
- 副理事長 網野 善治郎・宮田 隆
専務理事 斉藤 敏郎



1968.1.1 ▶12.31 昭和43年

第18代 理事長 **小原 幸男**

- 4月13日 第1回函館、室蘭JC経済交流会(室蘭)
 - 6月12日 青函トンネル開通後の函館(とくに国鉄駅の移動による都心の影響について)都市調査を開始
 - 7月15日 市立幼稚園長戸村キエ氏ほか2名の講師を迎えて教育座談会を開催
 - 8月3日 函館港まつり「一万人パレード」に函館JC初参加
- 副理事長 川村 兼悦郎・北村 実・古伏脇 清隆
専務理事 中島 茂



1964.1.1 ▶12.31 昭和39年

第14代 理事長 **宮田 隆**

- 6月11～13日 第1回国内産業視察団派遣、東京における企業の視察
 - 9月3日 JCデー「市長を囲む会」
 - 10月5日 献血運動に協力、ニチヤク血液銀行に会員20名が預血
 - 12月23日 クリスマス育児院訪問
- 副理事長 小笠原 孝・川村 兼悦郎・中沢 善三郎
専務理事 斉藤 敏郎



1969.1.1 ▶12.31 昭和44年

第19代 理事長 **古伏脇 清隆**

- 4月14日 ナホトカ航路の函館寄港問題について懇談会を開催
 - 5月6日 討論会「日本の安全と防衛について」元運輸大臣中曾根康弘氏を招く
 - 10月15日 例会 南道部長社党支部長「日本の安全と防衛」
 - 11月5日 例会 矢野市長を迎えて「函館圏総合開発計画について」勉強する
- 副理事長 萩野 清・金子 由雄・谷口 勢司
専務理事 石川 文雄



1965.1.1 ▶12.31 昭和40年

第15代 理事長 **成澤 善次郎**

- 6月10日 函館JC15周年記念式典を挙行、17JC200余名が参加
 - 青森JCとの経済交流会議を開催
 - 社会福祉委員会が「市内交通規制案内図」を駅前広場に設置
 - 森JC認承伝達式、函館JCはスポンサーJCとして全員が登録
 - 11月4日 産業会館建設に協力、100万円の寄附を決定する
- 副理事長 池見 厚一・小笠原 孝・山内 建吾
専務理事 中島 茂



1970.1.1 ▶12.31 昭和45年

第20代 理事長 **金子 由雄**

- 2月16日 地区協役員との懇談会開催(地区大会打合せ)
 - 7月25～26日 第19回北海道地区会員大会の主管挙行
 - 8月29日 地区協公式訪問
 - 8月30日 創立20周年式典
- 副理事長 萩野 清・沢田 恵治・谷口 勢司
専務理事 石川 文雄

1971 ▶ 1980

Junior Chamber International Hakodate



昭和46年～昭和55年

30周年記念事業 元町公園に四天王像建立



●1971年
市民の船(ハバロフスクで募参するメンバー)調査団



●1972年 函館市民の船



●1972年 愛の献血運動



●1973年
市民のジェット ハバロフスクアイススケート両市訪問



●1975年 マラソンJCメンバー来函



●1975年 お医者さんと共に市民の健康を考える



●1975年 第1回市民大レクリエーション大会



●1977年 クリーングリーン作戦



●1978年 JC少年の船出港



●1979年 第28回 地区会員大会



●1979年 水の中の生きもの展



●1980年 創立30周年記念式典



1971.1.1
▶12.31 昭和46年

第21代 理事長 **谷口 勢司**

7月20～27日 ナホトカ視察実施
9月17日 JCデー、テーマ「函館圏総合開発基本計画について」
10月16日 高校卒、中学卒、社会人一年生のつどい 道南青年の家
10月23日 新成人のつどい
11月26日 会員大会開催(市民会館)
副理事長 落合 治彦・沢田 恵治・北村 実
専務理事 石川 文雄



1976.1.1
▶12.31 昭和51年

第26代 理事長 **杉村 吉彦**

2月18日 青函経済圏開発促進協議会幹事会
5月5日 街きれ駅前近所清掃
5月20日 商工会議所創立80周年記念式典
7月29日 市民憲章会議
8月26日 日本JC現地調査
副理事長 斉藤 兆・野又 肇・堀 貞治
専務理事 本間 麟太郎



1972.1.1
▶12.31 昭和47年

第22代 理事長 **北村 實**

2月11～13日 札幌オリンピック道内児童参観事業へ13人の児童引率
6月1日 矢野市長、吉田亀田市長を招いて合併について意見交換例会
6月6～12日 「市民の船」ノ連との親善大役果す
8月19日 北海道新聞にJCのPR一面で掲載
9月3日 市民体育館建設資金つくりチャリティーショー開催
副理事長 秋葉 元平・飯田 貢一・木戸浦 隆一
専務理事 木村 治夫



1977.1.1
▶12.31 昭和52年

第27代 理事長 **野又 肇**

3月8日 マラソン公式訪問
5月3日 クリーングリーン作戦
6月4日 ブロックスポーツ大会
7月3日 愛の献血、交通安全推進パレード
8月7日 第3回市民レクリエーション大会
副理事長 石山 孝・小笠原 正・西村 憲人
専務理事 沢口 靖夫



1973.1.1
▶12.31 昭和48年

第23代 理事長 **川村 兼悦郎**

2月3日 社団法人として設立(北海道第1号)
5月13日 五稜郭公園にて「街きれ運動」展開
8月28日 「函館市民ジェット計画」実施 日ノ報
9月16日 JCデー記念特別事業、若者の意識調査及意見発表
10月10日 函館市教委主催第20回函館山駆け歩け運動協力(美化運動)
副理事長 地主 泰三・杉村 吉彦・堀 貞治
専務理事 木戸浦 隆一



1978.1.1
▶12.31 昭和53年

第28代 理事長 **小川 進**

5月17日 JC少年の船洋上研修
7月8～9日 北海道地区大会(苫小牧)函館LOM4つの褒賞受賞
7月27日 JC少年の船出港
9月14日 ヤングドライバーの集い「交通問題の現状と改正道法について」
10月20日 北海道新聞にJCの献血運動掲載される
副理事長 石橋 輝夫・北村 千尋・西村 憲人
専務理事 森川 順治



1974.1.1
▶12.31 昭和49年

第24代 理事長 **落合 治彦**

5月15日 JCメンバー全員による函館公園清掃
6月20日 函館の街をきれいにする市民運動協議会
6月30日 青少年の健全育成を目的とする大レクリエーション大会
7月1日 献血推進パレード 街頭献血実施
11月7日 マラソンJCとの姉妹JC調印式
副理事長 阿部 幸太郎・杉村 吉彦・渡辺 靖夫
専務理事 石田 得英



1979.1.1
▶12.31 昭和54年

第29代 理事長 **斉藤 兆**

3月17日 函館、森、八雲3LOM合同交通問題委員会開催
7月8日 第28回北海道地区会員大会、函館市民会館にて開催
7月22日 「水の中の生きもの展」開催
9月5日 JCデー「函館JCのルーツを語る」講師 三本木 博 先輩
9月8日 事務局を現在の大手町日魯ビルに移転
副理事長 国枝 時彦・小泉 康祐・堀川 昭雄
専務理事 国立 金助



1975.1.1
▶12.31 昭和50年

第25代 理事長 **飯田 貢一**

2月24日 函館の街をきれいにする「クリーンアップ市民会議」開催
3月7日 日本観光学術研究会大会公開シンポジウム
8月10日 第一回市民大レクリエーション大会実施
9月6日 函館青年会議所25周年記念式典
10月18日 函館圏都市問題研究会第5回公開発表会
副理事長 渋谷 清・白崎 弘治・渡辺 博
専務理事 北村 千尋



1980.1.1
▶12.31 昭和55年

第30代 理事長 **渡辺 靖夫**

●JCサマーキャンプの実施
「五つの願いの言葉」をテーマに市内一円の児童とメンバーの塾長との心ふれあう3日間を過ごした。
●30周年記念式典「元町公園に四天王像建立」
記念すべき函館青年会議所創立30周年記念式典を5月3日・4日、日本青年会議所初代会頭 黒川光明氏
等多数の御来賓をはじめ道内外のJCメンバーを含めて約800名で盛大に挙行政された。
又、記念事業として明治の函館市の代表的市民として四天王の像を元町公園に建てる。
副理事長 遠藤 尚孝・堀川 昭雄・中野 亮
専務理事 佐山 正敏

1981 ▶ 1990

Junior Chamber International Hakodate



昭和56年～平成2年

40周年記念事業 「響崎波響」作品集発刊



●1981年 異国情緒フェスティバル



●1981年 JC友好訪中団



●1983年 松山青年会議所スポンサー



●1984年 わんぱく道場



●1984年 第10回 市民レクリエーション大会



●1985年 創立35周年記念式典



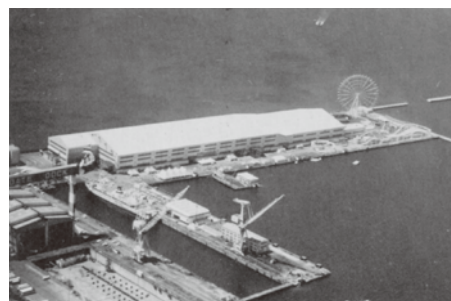
●1986年 コンベンションシティの提言



●1986年 第2回訪中団(リルビン)



●1987年 プレ青函博の記念講演



●1988年 青函博



●1989年 第41回 全国会員大会主幹決定

1981.1.1
▶12.31

昭和56年

第31代 理事長 西村 憲人

- 観光問題への取り組み、「異国情緒フェスティバル」の開催
- 西部、元町地区の先人が築き残してくれた建築物や史跡を歴史的な事実を広く市民や観光客に知ってもらう為に企画し約5,000人の参加を見た。
- JC友好訪中団の実績
- 歴史的にも中道と函館は極めて長い交流があったにも拘らず、戦後長く交通の滞結期間があり、日中平和友好条約締結以来、道内JCでは初めての試みとして、函館と大連の結びつきを一層強固なものにしようと訪中団の実施となり日中友好の輪を拡大することが出来た。

副理事長 国立 金助・中野 亮・渡会 明夫
専務理事 高井 克義

1986.1.1
▶12.31

昭和61年

第36代 理事長 山本 親志

- コンベンションシティ構想の提唱
- きたるべき21世紀に向けて、函館のあるべき姿としてコンベンションシティ構想を提唱、9月3日の全員出席例会は、公開例会とし、函館市長をはじめ、各界の先生を迎えシンポジウムを開催した。
- 第2回 訪中団の実績
- 函館とつなぐための深い中国を訪問、1988年に開催される青函博覧会への出品依頼、並びに地元企業に中国より2名の研究生受け入れを招請、了解を得た。
- 厳格丸箱館寄港記念事業の実施

副理事長 豊山 和彦・山科 康夫・吉川 達也
専務理事 小坂 雅敏

1982.1.1
▶12.31

昭和57年

第32代 理事長 国立 金助

- テクノポリスに関する研究会開催
- 国家的規模であるテクノポリスについて、高度技術に基づいた都市開発を促進する為、既存の地場産業の育成強化を図り、電子機械工学や生物工学などの先端産業などを調査研究し、函館市等への提言を行った。
- 教育問題セミナーのシリーズ開催

副理事長 石田 勉・堀 晃彰・森川 順治
専務理事 渡辺 親夫

1987.1.1
▶12.31

昭和62年

第37代 理事長 新谷 順次

- プレ青函博「エキサイティング函館」の開催
- 1988年7月から開かれる青函トンネル開通記念博覧会のPRと市民意識の高揚を目的として、5,000名を集めた記念コンサートや全国的に話題となった青函トンネル体験ウォーク、青函博PRのチビ子キャラバン、ウォーターフロントを利用して英国フェアー及びマリニフエスタ等一連のイベントを二週間もにわたって開催した。
- 函館空港ダブルトラック計画への賛同活動
- 英国における都市再開発の事例発表会の開催
- JCデー記念事業として、英国大使館一等書記官アイク・マクダーモット氏を招き、リパールのウォーターフロント地区再開発並びにロンドン再開発計画に関する事例発表会として公開シンポジウムを開催した。

副理事長 今井 由治・細野 清彦・水戸 三夫
専務理事 外崎 静二

1983.1.1
▶12.31

昭和58年

第33代 理事長 森川 順治

- 松山青年会議所のスポンサーとなる
- 江差を中心とした近郊に住む青年達が、JC運動に理解、賛同し、創立の気運が高まった。その準備の為、数年前より毎週のように打合せをかねながら、お互いの友情を高め、確認しあいながら、承認証伝達式までこぎつけた。
- 非行問題対話集の実施

副理事長 佐山 正敏・村田 好毅・吉川 達也
専務理事 山科 康夫

1988.1.1
▶12.31

昭和63年

第38代 理事長 今井 由治

- 青函トンネル開通に伴う青年合同例会開催
- 青函両JCの新たな交流の出発点と考え、両地域特有、且つ共通の問題について語り合い、相互の理解を深めた。
- 青函博開催についての協力
- 青函博事務局及び成功させよう会へのPR等側面での協力と青森JCとの共同事業として子供サミットを開催した。

副理事長 内田 明・国立 慶治・外崎 静二・千葉 秀実
専務理事 大桃 泰行

1984.1.1
▶12.31

昭和59年

第34代 理事長 南木 哲雄

- JCわんぱく道場の実施
- 北海道開発庁長官を招いての特別例会の開催
- テクノポリス指定を目前にした5月21日当ロムの要請により、稲村長官が来函し、特別例会を開催した。道南地域経済の現状と国政レベルでの協力を要請し、政界各団体に大きなインパクトを与えた。

副理事長 平形 隆司・山本 親志・島本 肇
専務理事 今井 由治

1989.1.1
▶12.31

平成元年

第39代 理事長 小坂 雅敏

- 第41回 社団法人日本青年会議所全国大会誘致決定
- 青函インターブロック構想にもとづき青函マップ作成配布

副理事長 大桃 泰行・小笠原 康正・灰谷 良一・山田 修司
専務理事 久保 俊幸

1985.1.1
▶12.31

昭和60年

第35代 理事長 平形 隆司

- 新幹線誘致と青函トンネル新駅舎についての研究と陳情
- 3月10日、世界的な注目を集めていた青函トンネルの本坑が貫通したが、今後トンネルをどう活用していくか、いろいろな構想が議論される中で、種々研究を重ね、北海道への新幹線誘致と現駅(函館駅)に新駅舎を誘致する旨の陳情書を、市、国、道、商工会議所等に提出した。
- 35周年記念式典
- 7月21日、野津会談をはじめ、函館市長等各界有志、OB、日本青年会議所メンバー、他ロムメンバーの多数の出席をいただき、35周年の記念式典を盛大に実施した。

副理事長 小林 久周・坂野 彰・新谷 順治
専務理事 内田 明

1990.1.1
▶12.31

平成2年

第40代 理事長 大桃 泰行

- 「響崎波響」作品集発刊
- 創立40周年を迎えるに当たり、数々の埋もれた郷土の遺産の一つでも多く集大成し保存しようとの考えから、近年関心の高まりつつある「響崎波響」の作品集を創立40周年記念事業として考え発刊しました。
- サンクス40フェスティバル開催
- 函館市が国際観光都市宣言をしたことを受け、「地域における国際化」をさぐると共に、市民に40周年を迎えたことに対する感謝をこめ開催しました。
- 40周年記念式典

副理事長 河村 祥史・佐々木 公明・佐藤 康一・福西 秀和
専務理事 小柳 金利

1991 ▶ 2000

Junior Chamber International Hakodate

平成3年～平成12年

50周年記念事業 翔け21世紀(みらい)ヘジュニア夢づくり隊



●1991年 「ラブリバー亀田川」運動(桜の木植樹)



●1991年～2000年 函館夜景の日



●1992年 第41回 全国会員大会 函館大会



●1992年 第41回 全国会員大会(函館大会)記念講演会



●1993年～2000年 スノーバトル



●1995年 45周年記念事業 グルーピングマーケット'95



●1998年～ はこだてクリスマスファンタジー(以後、継続事業となり2010年で13回目を数える)



●2000年 創立50周年記念式典



●2000年 創立50周年記念懇親会



●2000年 カナダ、ハリファックスからの贈り物(もみの木の記念植樹)



1991.1.1 ▶12.31 平成3年

第41代 理事長 **福西 秀和**

5月26日 ラブリバー亀田川実施(亀田川沿線)
8月13日 第1回 函館夜景の日実施(緑の島)他
9月16日 会津青年会議所との友好JC調印

副理事長 小笠原 康正・佐々木 祐二・保坂 秀樹・松本 秀雄・横岡 孝一
専務理事 貴 久義



1996.1.1 ▶12.31 平成8年

第46代 理事長 **成澤 茂**

8月9日 JCデー「明日へのオペラ」開催
8月 青少年アンケート調査実施
函館の歴史・風土・文化等について子供たちが函館のまちをどれだけ知っているか、また函館のまちをもっと関心を持ってもらうため市内全中学校一年生3,200名を対象にアンケート調査を実施。報告書を作成配布。
11月13日 韓国ウオルグJCとの姉妹JC締結
副理事長 佐々木 喜介・田口 博康・馬場 哲也・星野 勉
専務理事 宮崎 裕彦



1992.1.1 ▶12.31 平成4年

第42代 理事長 **小笠原 康正**

8月1日～4日 ウラジオストック～函館少年交流事業実施
ウラジオストックから日本語を勉強している小中学生や大学生、また海洋学関係の研究者、教育関係代表団、マスコミ関係者とチャーター便にて招聘。北大水産学部の教授とアカデミー研究者による市民向けの海に関するフォーラム「函館～ウラジオ海の交流」開催。
10月3日 第41回 全国会員大会主管

副理事長 石神 基晴・久保 俊幸・月館 正男・松本 秀雄・室田 晴康
専務理事 田口 博康



1997.1.1 ▶12.31 平成9年

第47代 理事長 **佐々木 喜介**

9月13日 ジュニアふるさとわんぱく体験隊実施
大沼国定公園内の大沼セミナーハウスにて模擬国際会議を体験。CAPグループによる講演やカナ体験、ボイスカウト体験等。
9月14日・15日 会津青年会議所との姉妹JC締結

副理事長 高橋 浩三・高村 恭幸・古田 清一・宮崎 裕彦
専務理事 馬場 哲也



1993.1.1 ▶12.31 平成5年

第43代 理事長 **佐々木 祐二**

2月11日 はこだて冬フェスティバル「第1回 スノーバトル(雪合戦)」開催
9月26日 JCデー「毛利衛氏記念講演」開催
10月1日 北海道地区協議会 最優秀JC賞「まちづくり推進賞」受賞

副理事長 佐藤 昌博・久保 俊幸・柳沼 司郎
専務理事 黒島 一生



1998.1.1 ▶12.31 平成10年

第48代 理事長 **星野 勉**

第1回 はこだてクリスマスファンタジーの開催
冬期観光の推進を目的とした市民・企業行政一体型の事業。
メインリリーは姉妹提携都市カナダハリファックス市より寄贈されたもみの木。
世界で初めての海上に浮かぶクリスマスツリーとして話題。

副理事長 江上 嘉彦・古伏脇 隆二・佐近 弘悦・馬場 哲也・浜津 隆
専務理事 亀井 一行



1994.1.1 ▶12.31 平成6年

第44代 理事長 **室田 晴康**

6月10日 第1回 ジュニアふるさと探検隊実施
7月25日 函館エジソン定期航空便就航に伴う青少年の～28日 国際交流事業(ジュニア夢飛行体験)実施
8月13日 青函JC交流事業実施。夜景の日に青森青年会議所を招き交流
9月3日～7日 JCデー「吉岡たすく氏による講演会」開催
副理事長 黒島 一生・菅原 修・土田 昌彦・時田 茂
専務理事 中島 力



1999.1.1 ▶12.31 平成11年

第49代 理事長 **浜津 隆**

7月15日 まちづくり勉強会実施
第1回 市民参加のまちづくり開催(サンリフレにて)。
第2回 函館駅周辺再開発とウォーターフロント開催(サンリフレにて)。
9月13日 JCデー「美しい地球を子供たちに」講演会開催
講師に高木善之氏を迎え、函館市芸術ホールにて800名の市民の参加で環境問題等についての講演会を開催。函館JCホームページ開設
副理事長 古伏脇 隆二・島田 宗人・高瀬 勝彦・高村 恭幸
専務理事 安田 雄二



1995.1.1 ▶12.31 平成7年

第45代 理事長 **久保 俊幸**

3月14日～16日 阪神大震災人的支援への参加
8月1日～3日 45周年記念事業「がんばれ阪神淡路の子供たちIN函館」実施
8月12日 45周年記念事業「グルーピングマーケット'95」開催
9月9日 創立45周年記念式典・祝賀会開催
副理事長 成澤 茂・星野 勉・松本 衛
専務理事 佐々木 喜介



2000.1.1 ▶12.31 平成12年

第50代 理事長 **古伏脇 隆二**

8月13日～15日 50周年記念事業「翔け未来へジュニア夢づくり隊実施」
第10回夜景の日参加・ほくらの未来大学体験
9月9日 ハイカラウォークラリー函館
50周年記念式典・懇親会開催
10月2～4日 「クリスマスツリーの木」もみの木の苗木贈呈。市内全小学校にカナダハリファックス市より寄贈されたもみの木を贈呈植樹。
副理事長 今林 純・大井 清二・小笠原 金哉・小笠原 勇人・亀井 一行
専務理事 佐藤 賢治

2001 ▶ 2010

Junior Chamber International Hakodate



60周年記念事業 函館宝探し



●2001年 JCデー「感動の共有事業」開催
シドニーパラリンピック競泳メダリスト
成田真由美氏公演&水泳指導



●2003年 JCデー「七大陸最高峰世界最年少記録
達成者アルピニスト野口健氏講演会」
開催



●2004年 JCデー「地域コミュニティの形成
(小さな輪から大きな輪へ)」
校庭芝生化実施



●2005年 「創立55周年記念事業水谷修氏講演会」



●2006年 第55回北海道地区大会函館大会



●2007年 JCデー新はこだて徒歩の旅



●2008年 講演会 地域振興フォーラム
「映画を通じて見えた函館～感動を伝えよう この街から～」
講師:森谷 雄氏



●2009年 社団法人西宮青年会議所との姉妹締結



●2010年 創立60周年記念事業「函館でらこや」



●2010年 道南踊る大食文化祭 ～地域の魅力大集合～



●2010年 創立60周年記念講演会
「社 仁成 函館を大いに語る」
講師:社 仁成氏



2001.1.1 ▶12.31 平成13年

第51代 理事長 **小笠原 勇人**

7月28～29日 青少年育成事業「ジュニア函館(ふるさと)探検隊」実施
9月25～26日 JCデー「感動の共有事業」開催(シドニーパラリンピック競泳メダリスト
成田真由美氏公演&水泳指導)
「情報の共有」開始(ペーパーレス理事会)

副理事長 小笠原 潔・佐藤 賢治・高瀬 勝彦・浜津 寿
専務理事 村田 雄子



2006.1.1 ▶12.31 平成18年

第56代 理事長 **佐藤 清治**

2月15日 「教育長例会」実施
9月1～3日 第55回北海道地区大会 函館大会主管
12月1日 JCデー「WE LOVE 熱い想いをこの街に」実施

副理事長 辻 慎太郎・寺井 慎一郎・富原 亮
専務理事 南出 政志



2002.1.1 ▶12.31 平成14年

第52代 理事長 **高瀬 勝彦**

5月3日 社会起業家実践体験「デジタルコンテンツ地域上映事業 実証試験」実施
9月15日 青少年育成事業「ジュニア・未来ふれあい隊」実施
12月1日 JCデー市制施行80周年記念事業「Happy Birthday Hakodate」開催

副理事長 荒木 保・大井 清二・小笠原 潔・小川 浩一
専務理事 薄田 英明



2007.1.1 ▶12.31 平成19年

第57代 理事長 **日光 貴行**

4月18日 「人に優しい街」～「思いやりの心」から始めよう～実施
6月30日 会津JC姉妹締結10周年記念例会実施
7月27～29日 JCデー「新はこだて徒歩の旅」実施

副理事長 小林 正明・寺井 慎一郎・藤澤 義博
専務理事 澤田 龍



2003.1.1 ▶12.31 平成15年

第53代 理事長 **高瀬 勝彦**

7月21日 青少年育成事業「大人も子供も夢発見」(上磯漁港付近)
9月9日 JCデー「七大陸最高峰世界最年少記録達成者、
アルピニスト野口健氏講演会」開催
10月12日 青少年育成事業「大人も子供も夢発見」(道南四季の杜公園)
10月15日 函館圏市町村合併の提言

副理事長 薄田 英明・中村 啓・日光 貴行・星井 英人
専務理事 沢口 拓希



2008.1.1 ▶12.31 平成20年

第58代 理事長 **寺井 慎一郎**

7月26日 JCデー「榎本武揚没後100周年記念公演」実施
全国域下町青年会議所連絡協議会加盟
全国でらこやネットワーク連絡協議会加盟

副理事長 小田桐 弘晃・加藤 宏樹・沢口 拓希
専務理事 藤澤 義博



2004.1.1 ▶12.31 平成16年

第54代 理事長 **星井 英人**

9月18日 JCデー「地域コミュニティの形成(小さな輪から大きな輪へ)」
校庭芝生化実施
9月～10月 エリア会の実施
第55回北海道地区大会誘致

副理事長 朝妻 直・大野 尚人・中山 一郎
専務理事 佐藤 清治



2009.1.1 ▶12.31 平成21年

第59代 理事長 **藤澤 義博**

7月6日 函館開港150周年記念連携事業
初代観光庁長官 本保芳明氏講演「観光フォーラム in はこだて」
7月26日 社団法人西宮青年会議所と姉妹締結調印式

副理事長 小田桐 弘晃・加藤 宏樹・澤田 龍・高畑 幸治
専務理事 丸谷 史



2005.1.1 ▶12.31 平成17年

第55代 理事長 **中山 一郎**

4月20日 「新函館市観光の現状と今後の展望を考える」開催
6月3日 創立55周年記念祝賀会開催
6月27日 「創立55周年記念事業水谷修氏講演会」開催
7月6日 小・中学校「出向授業」実施
9月23日 JCデー「明るい未来にトライ!」開催

副理事長 齊藤 利仁・佐藤 清治・田村 且法・中村 啓・日光 貴行
専務理事 池田 幸久



2010.1.1 ▶12.31 平成22年

第60代 理事長 **澤田 龍**

7月29～8月29日 創立60周年記念事業「函館宝探し」実施
9月4日 創立60周年記念式典祝賀会開催
11月22日 創立60周年記念事業「社 仁成 函館を大いに語る」実施

副理事長 今井 由紀・加藤 宏樹・高畑 幸治
専務理事 田嶋 隆将

会員褒賞

2013年～2015年 11月例会 会員大会にて受賞

2013年度受賞者

【最優秀委員会賞】 地域活性委員会

- 【ムードメーカー賞】 中山 治
- 【出席率ナンバーワン委員会賞】 総務委員会
- 【委員会出席率ナンバーワン賞】 総務委員会 岩崎 一生
- 活力創造委員会 紀國 隆介 渡辺 月次
- 会員拡大委員会 野又 淳司
- 会員交流委員会 野村 慎祐
- 広報渉外委員会 玉森 愛 豊田 康宏
- 地域活性委員会 今井 一人

- 【遠征賞】 高橋 弘行
- 【皆勤賞】 今井 一人 北村 雄治 玉森 愛 野村 慎祐
- 【拡大貢献賞】 辰巳 博康
- 【最優秀新人賞】 北村 雄治

理事長賞



2013年度理事長賞受賞者
横田 貴之

2014年度受賞者

【最優秀委員会賞】 地域創造委員会

- 【特別賞】 今井 一人 福西 秀幸 松浦 慎太郎
- 【優秀出向者賞】 中山 治 高野 拓哉
- 【優秀委員賞】 総務委員会 竹田 雅美
- 地域振興委員会 紀國 隆介
- 広報渉外委員会 岩崎 一生
- 会員拡大委員会 鎌鹿 玄介
- 未来創造委員会 吉田 誠
- 地域創造委員会 佐藤 将道

- 【遠征賞】 小林 周平 辰巳 博康 福西 秀幸
- 【皆勤賞】 池野 裕二郎 嘉堂 聖也 小林 周平
- 酒井 美智子 玉森 愛 時田 真一 松本 怜
- 【拡大貢献賞】 相田 絃人 佐藤 将道 竹田 雅美 渡辺 月次
- 【最優秀新人賞】 松本 怜

理事長賞



2014年度理事長賞受賞者
野又 淳司

2015年度受賞者

【最優秀委員会賞】 広報渉外委員会

- 【報恩謝徳賞】 五十嵐 慎悟 竹田 賢司 時田 真一 藤井 辰吉
- 【努力賞】 岡本 壮一郎 紀國 隆介
- 【特別賞】 稲場 永次 川代 知道 松本 怜
- 【優秀出向者賞】 五十嵐 健太
- 【遠征賞】 渡辺 月次
- 【皆勤賞】 内海 愛華 島津 悠
- 【拡大貢献賞】 祖濱 彰太
- 【最優秀新人賞】 内海 愛華

理事長賞



2015年度理事長賞受賞者
上原 亮太

物故会員



故 遠藤 拓生 先輩
2011年4月16日ご逝去69歳



故 星野 武敏 先輩
2011年5月3日ご逝去72歳



故 佐藤 孝行 先輩
2011年5月10日ご逝去84歳



故 須田 新輔 先輩
2011年6月10日ご逝去67歳



故 川原 敏敬 先輩
2011年7月1日ご逝去54歳



故 松本 演之 先輩
2011年8月21日ご逝去86歳



故 斎藤 正則 先輩
2011年10月11日ご逝去64歳



故 三本木 博 先輩
2011年11月12日ご逝去96歳



故 山村 敏 先輩
2011年12月29日ご逝去75歳



故 白崎 弘治 先輩
2012年6月2日ご逝去77歳



故 木島 保 先輩
2012年6月4日ご逝去91歳



故 飯田 貢一 先輩
2012年11月14日ご逝去76歳



故 亀井 敏清 先輩
2013年4月21日ご逝去81歳



故 野口 剛正 先輩
2013年12月17日ご逝去70歳



故 丹 征吉 先輩
2013年6月28日ご逝去76歳



故 柴崎 晃 先輩
2014年1月18日ご逝去71歳



故 阿部 幸太郎 先輩
2014年3月6日ご逝去81歳



故 大桃 泰行 先輩
2014年4月1日ご逝去64歳



故 高橋 修 先輩
2014年6月5日ご逝去62歳



故 川村 兼悦郎 先輩
2014年8月27日ご逝去81歳



故 小島 節弥 先輩
2014年11月17日ご逝去68歳



故 滝下 栄次 先輩
2015年1月2日ご逝去59歳



故 秋葉 元平 先輩



故 白淵 裕峰 先輩

ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

一般社団法人 函館青年会議所 会員一覧

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 
株式会社イーシー
相田 絃人 | 
東興アイテック株式会社
朝倉 友和 | 
函館熱水機器管理株式会社
五十嵐 健太 | 
五十嵐工業所
五十嵐 慎悟 |
| 
Een Luck
池野 裕二郎 | 
伊東園芸
伊東 誠 | 
株式会社マリナプラザ伊藤
伊藤 政洋 | 
稲場魚介苑
稲場 永次 |
| 
オールイントラベル
岩崎 一生 | 
株式会社サンズコーポレーション
上原 亮太 | 
Jewel
内海 愛華 | 
函館バス株式会社
内澤 博昭 |
| 
海老司法書士事務所
海老 憲一 | 
協栄廃棄物処理株式会社
岡本 壮一郎 | 
株式会社加藤表具内装店
加藤 尚孝 | 
カドウフーズ株式会社
嘉堂 聖也 |
| 
株式会社沙蘭
金村 秀一 | 
株式会社函館クリーン
鎌鹿 玄介 | 
株式会社かまだ
鎌田 篤則 | 
株式会社かわしろ建築設計事務所
川代 知道 |
| 
Cocktail & Food BAR SURF
川端 康寛 | 
河村工業
河村 悦郎 | 
北村木工
北村 雄治 | 
紀の國建設株式会社
紀國 隆介 |
| 
株式会社大和
国立 朋裕 | 
株式会社らいず不動産
國本 直弘 | 
小枝建設
小枝 雄也 | 
株式会社ごとう幼保教材社
後藤 広貴 |
| 
株式会社アキヤマ
小林 周平 | 
株式会社YGフラッグシップ
小林 大作 | 
小林法律事務所
小林 靖広 | 
兼八水産株式会社
近藤 大己 |
| 
株式会社ホテル万惣
斉藤 由美子 | 
訪問介護ステーション輪
酒井 美智子 | 
株式会社サトーエージェンシー
坂口 英人 | 
株式会社UPSTART.COMPANY
佐藤 将道 |
| 
株式会社グイイチ澤田建設
澤田 光成 | 
北海道産ファーム
瀧田 孝 | 
株式会社島津清樹園
島津 巨樹 | 
株式会社丸二土村商店
島津 悠 |
| 
株式会社Balance Life
嶋村 崇 | 
株式会社プリントハウス
清水 暢一 | 
イマジンホテル&リゾート函館
菅原 さつき | 
道南ドリンク株式会社奥田
祖濱 彰太 |

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 
株式会社函館フーズプランニング
高野 拓哉 | 
株式会社函館文化画報社
竹田 賢司 | 
辰己商事株式会社
辰己 博康 | 
ラウンジ ボギー
玉森 愛 |
| 
浄土宗 瀧澤山 湯川寺
筒井 章順 | 
株式会社サンアール
時田 真一 | 
ユーズフルオート
豊田 康宏 | 
株式会社ニュー糸平コスモドライブ
中澤 里子 |
| 
株式会社中浜組躯体興業
中濱 昭二 | 
株式会社グリーンババ
永濱 貴之 | 
日函機器株式会社
中山 治 | 
函館葛屋書店株式会社
中山 慶祐 |
| 
Cuore
二本柳 匡沙子 | 
野口生花店
野口 慶太 | 
協和石油株式会社
野口 純平 | 
株式会社文字堂
野口 丈介 |
| 
株式会社エヌボシノムラ
野村 慎祐 | 
株式会社M-T SEA FOODS
濱道 真樹 | 
株式会社エレテック
平賀 一匡 | 
ベルメゾンFK
福島 和弘 |
| 
株式会社工藤組
福西 秀幸 | 
株式会社舞台派遣
福原 祐介 | 
函館市議会議員
藤井 辰吉 | 
株式会社函館カネニ
藤田 聖人 |
| 
株式会社五光
堀 哲也 | 
堀田法律事務所
堀田 剛史 | 
株式会社弥生水産
本間 税 | 
スクリーンゴルフReal
本間 基裕 |
| 
エコー保険株式会社
松浦 慎太郎 | 
株式会社JTB北海道函館支店
松浦 鉄平 | 
株式会社カネサク大出商店
松田 貢典 | 
社会福祉法人 育星園 函館美原保育園
松本 怜 |
| 
株式会社アールシー
三上 隆広 | 
株式会社インディアンアロー
宮田 和希 | 
株式会社ヤマサ宮原
宮原 章倫 | 
第一生命保険株式会社
村口 隼 |
| 
株式会社安田塗装店
安田 浩敏 | 
柳法律事務所
柳 順也 | 
ヤマウチシーリング
山内 裕之 | 
株式会社ガスコープエネルギー
山下 拓郎 |
| 
株式会社いざり火ハイヤー
山田 信幸 | 
株式会社ニューアンドジョイ
矢本 恭子 | 
野村不動産株式会社
湯田 真実 | 
木下元章法律事務所
百合 拡泰 |
| 
株式会社有隣商会
横田 貴之 | 
株式会社二協自動車商会
吉岡 篤史 | 
株式会社北洋舎クリーニング工場
吉田 誠 | 
株式会社函館仮設
渡辺 月次 |



私たち、一般社団法人函館青年会議所の活動に対して御理解御協力・御支援下さる地域の皆様、先輩諸兄・諸姉、青年会議所関係者各位、すべての方々に当青年会議所が、創立65周年を迎えられたことを感謝申し上げますとともに、創立65周年記念誌編集に際し、御寄稿、御協力下さいました関係諸氏に対し、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

創立65周年記念誌 編集スタッフ一同



一般社団法人函館青年会議所 創立65周年記念誌

発行責任者 第65代理事長 横田 貴之
 65周年実行委員長 後藤 広貴
 編集責任者 副実行委員長 福西 秀幸
 取材責任者 広報部会 部会長 五十嵐 慎悟
 担当部会 広報部会 副部会長 池野 裕二郎
 部会幹事 鎌鹿 玄介
 部 会 員 岡本 壮一郎・五十嵐 健太・伊東 誠・加藤 尚孝
 祖濱 彰太・辰巳 博康・中濱 昭二・二本柳 匡沙子
 福島 和弘・菅原 さつき・堀 哲也・宮田 和希
 発 行 一般社団法人 函館青年会議所

〒040-0064 函館市海岸町6-13 (海岸町ビル3F)
 TEL 0138-26-8563 FAX 0138-27-0717
 URL <http://www.hakodate-jc.com>
 E-mail hako.jc@lily.ocn.ne.jp

